

# 虫喰いマモ

3号〈通刊8号〉

非核ニュージーランドをつくり出した人びと

ずいひつ／林郁

おもしろ対談／名取弘文VS小嶋さちほ

地域にこだわって／宮本なおみ・吉野信次

日本をつきはなしてみる場所・沖縄／平良修

ジョン・バルouz(英炭労)にきく

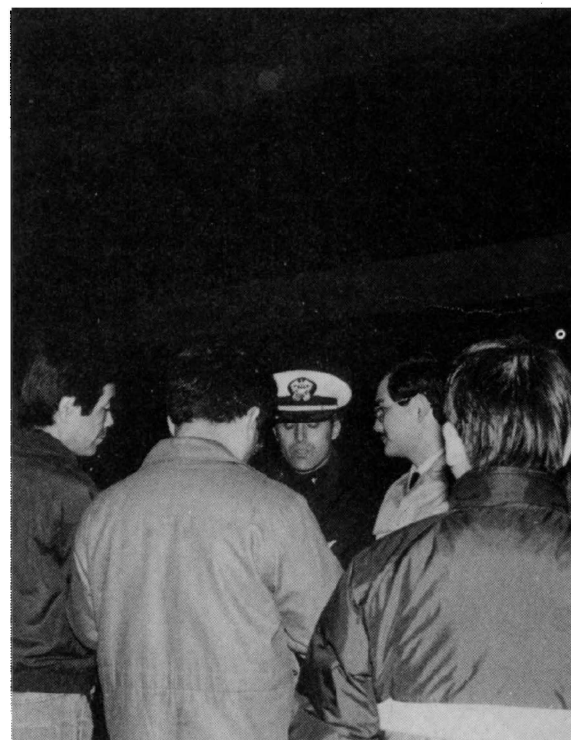




# トマ喰い虫 改装3号(通刊8号) '85/5/10

写真報告●85年春のトマ喰い虫たち……1  
トマ喰い虫インタビュー  
非核ニュージールランドをつくり出した人びと……2  
地域から……4  
那覇／熊本／京都／呉／東京／ヨコスカ  
千葉／埼玉／金沢／北海道  
トマホークデータ……8  
地域にこだわって●宮本なおみ VS. 吉野信次……10  
第5回全国会議報告……14  
もの申す／●小西一郎……15  
今日の安保……16  
中央指揮所のQ&A……17  
自衛隊山岳訓練を許すな！……18  
私の主張  
鹿児島からはじめまして●毛利淳二……19  
ジョン・バロウズ(英炭炭)にきく……20  
ともに学ぶ、ともに創る●「チョイス」自主講座……21  
ずいひつ 林 郁……23  
おもしろ対談 名取弘文＋小嶋さちほ……24  
日本をつきはなしてみる場所  
●平良 修……28  
読者から……31  
海外から●ペラウ、ハワイ、韓国……32  
トマホーク・アンケート(第2回)結果……34

表紙デザイン●平野甲賀 イラスト●味戸ケイ子



▲3月25日、核トマホーク搭載可能艦ホークビルが横須賀に入港。抗議文を持って基地へ。



▲1月18日、ニュージーランドのオークランドを訪れた中曽根首相を出迎えた横断幕「ようこそ、核のない国へ。いっしょに核のない世界を創りましょう」。

▶太平洋を核のゴミ捨て場にしてはならないと北マリアナ連邦からやってきた代表団。3月2日お別れパーティーで。

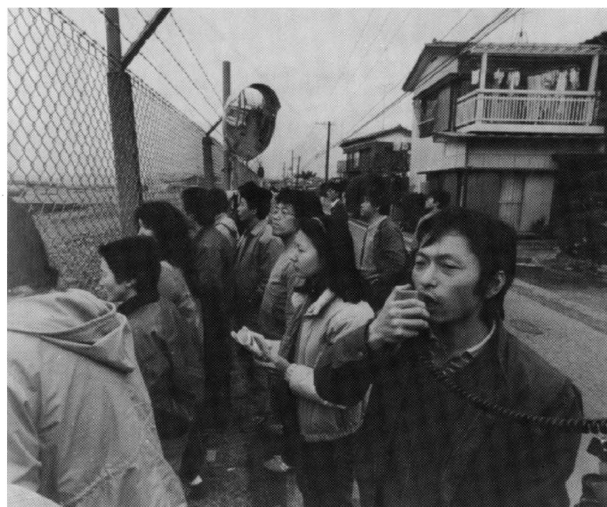


# 核も基地もない アジア・太平洋を！ '85年、トマ喰い虫たちの春

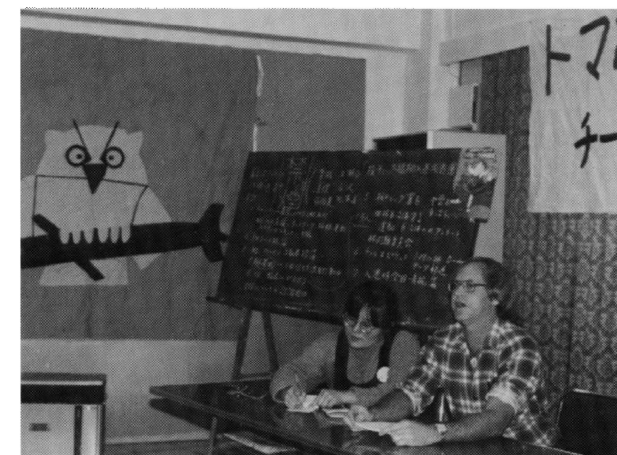
▼3月21日、米韓合同軍事演習「チームスピリット85」に抗議するデモには1100人が集まった。「反対！」の声はアメリカ大使館前でいっそう大きく。



▼3月3日「アジア、太平洋の民衆は連帯してトマホークを止めよう！」と訴えるハワイの代表ジョン・ウィテックさん。(広島・第5回反トマホーク全国会議)



▲3月9、10日、首都圏の基地を訪ねてまわるピースバス・ツアー。再び戦争の準備を始めた相模補給廠で。説明しているのは小西一郎さん。



# トマホークとは

トマホークは、いまアメリカが日本を含むアジア・太平洋地域に配備しようとしている巡航ミサイルです。核弾頭をもったトマホークは広島型原爆の15倍の威力をもち2500キロメートルも飛びます。目標付近の地図を記憶したコンピューターを搭載し、極めて高い命中精度を有します。超低空で飛行するため、敵側のレーダーを逃れ、限定核戦争の第一撃をねらった兵器とされています。

# ニュージーランド 非核アオテアロアをつくり だした人びと

アジア平和会議（2月・沖縄）に参加したアオテアロア平和運動代表派遣団（オーウェン・ウィルクス、ナリ・テ・ヒラ、ジョージ・アームストロング氏ら）にニュージーランドの非核ガどのようにして生まれたかを聞いた。  
インタビュー◎山鹿順子



## みんな草の根

ニュージーランドの最近の動きに大変感銘をうけています。「非核」の実現の背景になったと思われる、草の根運動についてまず話してください。

●アオテアロア（ニュージーランド）では草の根運動についてあまり話しません。というのは、平和運動全体が草の根だからです。平和運動の中でも、反核運動は68年に始まったといえます。米海軍がサウスアイランドに、オメガ送信基地を作ろうとしていたというショッキングな事実を知り、それが自分達が核の攻撃対象になり

うるのだということを考える最初のきっかけでした。

また、66年に始まったフランスの核実験を憂慮する声も、徐々に高まってきました。72年に成立した労働党政権は、軍艦をモルロアに出航させ抗議しました。これらに見事な行為でしたが、フランスの核実験をやめさせることはできませんでした。フランスは地下実験に切りかえたのです。そうした中で、75年には反核太平洋運動が始まりましたが、同年労働党政権が敗れ、運動をリードする動きも弱まりました。

ところが76年、米軍の核艦船がはじめてアオテアロアに寄港し、猛烈な反対運動が起こったのです。人々は怒り、再び草の根のはばひろい運動となりました。抗議船団をしたてて阻止行動をしたのです。米軍はそのうち疲れてくるだろうとたかをくくっていました。運動は益々強くなりました。

83年ごろまでに人々の反核の意識はかなり高まってきました。グリーナム・コモンの女たちや、西ドイツの緑の党の女たちなどが大きく報道され、それが私たちに最後の一押しを与えてくれたと思います。地域レベルでの非核地域キャン

ペーンは81年頃に始まりました。ワイヒキ島という自治体が第一号の非核地域宣言をしました。小さな自治体でしたが、国中の他の自治体に、自分たちの後に続くよう呼びかけたのです。同時にクライストチャーチで非核地域運動が組織されました。このように小さな田舎町から運動が起こり、成功させたことが、ニュージーランドの非核運動の草の根主体の性格を強くしていったのだと思います。

ニュージーランドは、地理的にも世界の他の国から遠くはなれた平和な所に位置し、核の脅威といえば、米核艦船の時たまの寄港とフランスの核実験による海の汚染だけで、運動の焦点を比較的狭く絞れ、そこに専念でき、具体的に何事かを達成できる、そういう環境にあったこともさいわいだと思います。

●草の根運動の中では、どういう人たちがイニシアティブをとったのでしょうか。

●いろいろです。ベトナム反戦運動は主として学生たちが先導しましたが、教会も労働組合もかわりました。

米核艦船阻止の「平和船団」にはボートやヨットの所有者が参加

しました。彼らの多くは環境問題に関心をもっていて、原子力艦船対から始めたのですが、やってくるうちに核兵器にも反対するようになりました。

●草の根・反核の人々と労働党の関係はどうなのでしょう。

●労働党の地方支部で活動している人々は、平和運動に個人の立場で参加しています。

72年から75年まで政権をとった労働党は強い反核の立場をとりました。政権が敗れるとともに反核運動も崩壊したのですが、この場合は、労働党が反核のイニシアティブをとっていたといえるでしょう。今はさいわいなことに、労働党は世論を主導しているのではなく、世論に従っているのです。

●国内で、政府の非核政策に対する反対の声はどうですか。

●驚くほどわずかです。私たちが出発する一週間前に、ウェリントンで政策支持の五〇〇〇人のデモがありました。同時に、ウェリントンよりはるかに大きな都市であるオークランドで、反対のデモがありました。こちらはわずか二〇〇人でした。それもパンクの若者などに野次られたりして……。具体的な運動のすすめ方は。

## マオリの闘い

●反核運動の人たちは、マオリ（ニュージーランドの先住民）の民族解放運動にどのように関わっていますか。

●（マオリ）直接的な関係はありませんが、太平洋の人々の闘いにかかわるという意味で、マオリ民族の闘いに関係しています。

マオリ人はあまり反核にはかわっていません。反核運動は基本的に白人の運動だと思います。でも反核運動がアオテアロアの存在を守る限り、私たちは支持します。マオリ人は大半がやつのことでは生きていますから。

●アオテアロアというのは、ニュージーランドをさすマオリの言葉と聞いていますが、どのような意味なんですか。

●（マオリ）文字どおりにいえば、長くたなびく白い雲の土地という意味です。ニュージーランドをアオテアロアとよぶのは大切なことです。

●反核運動で女の力が大きいと聞いていますが……。

●ええ。たしかにアオテアロアの平和運動には女性が多く参加しています。男の人は技術的なことに関心を持ちますが、女の場合、問題自身に関心を持ちます。女は物質よりも、生命と未来を大切にしたいという気持が強いのでしょうか。またフェミニズムの影響もあると思います。あまりにも長い間、自分たちに関することでも、男が決定をしてきた。それはもうたくさんという気持です。

●（マオリ）マオリの闘いは女の人たちが先頭に立っています。マオリの思想・社会は、人と土地、海、空間の均衡ある関係から成り立っています。人と自然は全体のうちの一部を構成するもので、白人社会のように分離したものではありません。こうした関係を侵すも

## 日本民衆へ

のに対する闘いに私たちは参加します。マオリの闘いは女がイニシアティブをとり、それ故かどうか、平和運動に参加しているマオリは男より女の方が多いいです。

●皆さんから日本の民衆へメッセージをいただきたいのですが。

●私たちは太平洋でのトマホークの配備をやめさせるため、私たちにできる限りの役割をはたしてきました。アオテアロアより、日本の方がトマホークの配備にとって重要な位置にあります。日本でトマホークを止めることができれば、米海軍はトマホークの配備をやめるかもしれません。日本へ持ってこれなかったら、その効果がうたがわしいからです。太平洋全体の反トマホーク・キャンペーンで、日本はその鍵となっています。成功を祈るというより、要求したい。●私がお願したいのは、日本の皆様からアオテアロアのマスコミとロンギ首相に、支持の手紙を送ってほしいということです。今とても心配なのは米国の圧力です。そして日本政府も……。

●具体的などうすればいいでしょう。これはロンギ首相宛の手紙



の見本ですが。

●大変結構です。新聞社にもぜひ。主要新聞のリストを書きましよう。●政府が非核政策を決定してから起きたことで最もすばらしいことのひとつは、アオテアロアの国内、国外から絶大な支持が寄せられたことです。中国政府までが支持を表明しました。しばらくの間、首相は一日に二〇〇〇通もの手紙を受け取ったそうです。海外からもたくさんありました。

これは首相だけでなく、民衆に

## 沖 縄 イチヤリバ・チャーデー 基地をなくそう

1985年2月25日、那覇市は曇り空の日曜日であった。私たち「那覇市から基地をなくす住民の会」(島田正博さんが発起人)は、第一回目の基地へ向けた行動を開始した。私たちの息の長い闘いの始まりである。「住民の会」は別名「イチヤリバ・チャーデーの会」と言う。イチヤリバ・チャーデーというのは「出会った時

リット85」に伴い、事前集積艦「ジュピター」が数回入港し、戦車やジープ等を上げおろししている。私たちは那覇軍港の側を通るたびに黄土色の迷彩色をほどこした戦車を見て、改めて自分たちが戦争と隣り合わせに生かされていると感じざるをえない。しかも、この軍港は朝鮮半島や中近東に直結しているのだ。

私たちは第二次世界大戦の時に那覇市が10・10空襲(1944年)で真っ先に攻撃された事実を決して忘れない。沖縄戦で、なぜ真っ先に那覇市が攻撃されたのか、その理由は明らかである。それは、当時那覇軍港があり、小緑飛行場があり、政府軍部の中枢機関が集まっていたからだ。その現実、敗戦後40年を経た今日も変わっていない。私たちの未来は軍事基地に左右されたままである。イチヤリバ・チャーデーの会は決してこの現実を許さない。私たちは那覇市から軍事基地を撤去し、米軍、自衛隊を追い出すまで毎月の定例会集・デモを中軸にして闘いぬく。同時に那覇市の「軍用地使用違憲訴訟」や「那覇空港の民間専用化」の闘いを支援していく。横須賀の

とっても心強いものです。というのは、米国が報復してこないか、判断を誤っていないか、行きすぎではないか、という不安が生まれがちだからです。多くの支持の表明で、私たちは正しいことをしているのだという確信を持てるのです。

●もうひとつ重要なことがあります。私たちは非核の闘いをアオテアロアの先住民の問題と結びつけたいと思っています。ニュージーランドの白人とともに日本の民衆

から「兄弟だ」という意味の琉球語である。

初回のこの日は、わずか10余名の参加しか得られなかったが、「軍隊はいらない!基地を市民の手にな」と大書きした横断幕をかがけて自衛隊の那覇駐屯地から米軍那覇軍港までデモ行進した。毎月第4日曜日の対基地行動の幕が切れて落とされたのである。

私たちは、那覇市から基地をなくすまで、自立した住民の一人一人が気軽に参加できる、手作りの創意工夫をこらした行動で住民連

## 地域から

も、アオテアロアの最初の住民、マオリ民族のことを取り上げるのが大切です。というのは、西欧の帝国主義、軍国化、核化は、今よりさらに先住民を追いつめる収奪を行なうことが明らかだからです。

●米艦船が核兵器を積んでいるか否かをめぐる欺瞞と嘘の仮面をロンギ首相ははがしました。中曽根首相はみじめなまでにこの仮面で自らをかくし、二枚舌と呼ばれています。かつて我々の政府もそう

動を展開しようと考えている。私たちの横断幕には「青空のパフォー・マンス」と書かれている。

現在、那覇市には陸上自衛隊那覇訓練場、航空自衛隊那覇基地、那覇軍港、米軍上之屋住宅地区の4大基地がある。今後返還の見通しがあるのは上之屋住宅地区だけ。那覇空港はいったん米軍から返還されたものの、その後自衛隊が入り込んできて居すわっている。

那覇空港は沖縄の表玄関であるにもかかわらず、全国的にも例のない軍民共同使用の国際空港であ



で」と訴えた。また、下北半島の核サイクル基地化を推進するため、本原燃産業に対して、強い抗議の声が上げられた。自主講座・反公害輸出通報センター

## 玉 大和田基地への とりくみ開始

3月10日、新座市で「大和田基地を考える市民のつどい」が開かれた。青木日出雄さんの講演のあと、地元市議もまじえて討論。大和田一所沢・横田を結ぶB52への核攻撃指令システムが、第二の朝鮮戦争をにらんで増強されていることに「このままではいけない」という声が続出した。近いうちに講演録を発行予定。上福岡市民連合(岩木英二代表)0492・660743

## 地域から

でした。しかしロンギ首相の場合、多くは平和運動にそうさせられたのですが、問題の真意を把握し、仮面をはずしたのである。

我国では米艦船の真の性格に関する公開討論会を行ないましたが、トマホークの配備に関するものはまだです。もしロンギや他の人がそれについて公言することができれば、状況に大きな影響を与えることができるでしょう。トマホークを止めるためがんばりましょう。

る。この間、那覇空港では自衛隊の戦闘機とヘリコプターが、それぞれ一回ずつ墜落事故を起こしている。民間旅客機と自衛隊機のニアミス事故については救えあげたらきりが無い。那覇空港に関しては保守も革新も「民間専用化」を要求しているが、日本政府や防衛庁は耳を貸そうともしない。これは日本政府のあからさまな沖縄差別政策以外の何ものでもない。

いっぽう、米軍の那覇軍港はますますその機能が強化されてきている。米韓合同演習「チームスピ

## 千 葉 事務所をもったのだ

ちば行動も結成3年目になろうとしています。様々な問題に敏感になるために情報を集中できる場を、と3月より事務所を持ちました。また色々な人が集まる「たまり場」として広く活用していこうと思っています。財政を支えるために「ちば行動ニュース」の定期購読、カンパをお願いします。千葉市小仲台3の2の31共栄マンション一号室「核と戦争のない社会を」軍拡の中曽根はゴメンだ!ちば行動!

## 東京 中曽根に申し入れ

2月19日、「トマホークの配備を許すな!全国運動」は、米核兵器積載可能艦の入港拒否を打ち出したニュージーランド・ロンギ政権の非核政策支持を表明し、同国が拒否した米艦船の入港拒否、米艦船、航空機などの核チェック等を要求する、中曽根首相あての申し入れ書を、首相官邸で秘書官を通じて提出した。トマホークの配備を許すな!全国運動



## 五 自由ラジオ新座放送 開局間近！

新座市は主婦を中心とした消費者運動が比較的活発な地域。昨年2月にはその主婦が「みずの会」を結成、革新無所属の女性議員2人を誕生させた。自衛隊観閲式反対のデモも主婦と子供が中心となって市内を歩く。女が主流なのだ。そこへ、白髪まじりの中年のおじさん達が登場し、自由ラジオ・新座放送開局にむけ活動を開始した。障害者と健常者のふれあいの場として「よろづや」という店がある。その中にスタジオを作った。4月開局へ！ 中年はがんばる。山口博（新座市民）

## 呉 侵略の基地を うきぼりに

昨年2月、呉の海上自衛隊は周防灘で海峡封鎖を想定した日米共同演習を行い、事実上呉はチムスピリットに加担している。私達はこうして侵略の基地として浮きぼりにするべく、関係機関への申し入れ、市内情宣、学習会、さらに基地監視など一連の反チムスピリット行動を進めている。トマホークの配備を許すな！呉市民の会 0823・21・2414



## 福生 全国の基地監視の 仲間がはばれ！

朝の8時から夕方5時まで、連日、連日、横田基地は見張られている。ビルの屋上から、車の中から、雪の日も雨の日も。双眼鏡で、望遠レンズで、なによりもわずかの異変も見落とすまいと頑張っている仲間たちの「マナコ」で。1月末から4月中旬まで、「チムスピリット85」の全期間中、横田基地に離発着する軍用機、そして搬入される戦略物資のチェックは、日本がどのような形でこの核戦争想定軍事演習に加担しているのか、その実態を暴いてゆく。全国各地の基地監視の仲間たちもガンバレ！ 福生市民連合・遠藤洋一 0425・51・8906

## 北海道 片道四時間の ヒラマキ

厳寒期の実戦を想定した日米合同演習が進行されているさ中の2月17日、上富良野での反対集会に呼ばれた。札幌からは片道4時間、各戸にビラを配ったのち、雪原での集会に合流、自衛隊基地への抗議デモ。同じ上富良野の演習場に隣接した多田弾薬庫の拡張計画に反対して防衛庁の測量を拒否した高松さんも親子で参加した。

北海道では近年、日米合同演習がひんぱんに行なわれ、弾薬の備蓄増など継続能力の強化を図る自衛隊の動きも活発化している。基地の町で「自衛隊にさからえない」雰囲気をはね返して農業を続けていこうとする高松さんの闘いに、この日の疲れが吹き飛ぶ思いだった。反核・反原発全道住民会議 大和説子 011・746・2801



## 都 全国で京セラへの 抗議行動を

「京セラがトマホーク部品製造」という記事が2月16日付夕刊各紙に大見出しで報道された。井上一成代議士が、カリフォルニアにある京セラの子会社、京セラ・インターナショナル・インコーポレイテッド（KII）が、ゼネラル・ダイナミクス（GD）の特注により、トマホーク用のセラミック製ICパッケージを製造と予算委員会で質問したもの。

行動の最初は「中曽根いやや伏見区民の会」。京都市伏見区にある社長宅へ2月17日抗議文を持って出かけた。2月26日には「トマホーク阻止京都連絡会」が山科区の本社に抗議。社長室と人事課の幹部3名が応接室で応対。一時間余りの「論争」。KIIがGDにICパッケージを納入していること、GDに事務所を貸与していることなどは認めつつ、それらが一般取引の範囲内であることを強調する。

3月1日には、出勤してくる社員に抗議文の写しと交渉の経過を記したビラを配る。ほとんどの社

員はビラを受け取らない。しばらくすると社内から10数名の社員がとび出してきて、「誰に金をもらってやっているんだ」とビラ配りの妨害を始める。あちこちで論争の輪ができる。一時間余りで配ったビラは50枚に満たなかったが、参加者は京セラ社員との論争に、疲れを知らぬ意欲をしていたのだ。日本有数のハイテク産業の実態が、ビラを受け取った社員をひとりずつチェックすることで成り立っていること、「生長の家」の信奉者である社長の下で「大家族主義」的労働者支配によって成り立っていることを私たちは見た。京セラをGDと手を切るように追い込むことはそれほど困難ではない。全国にちばった営業所、工場へのビラ配りと抗議行動を！ トマホーク阻止京都連絡会

## 京 ピースバスにのって 「基地体験」

それを何といったらよいのか、「基地体験」というとすこし大げさでしょうか。とにかく「本物を見た」という感じなのです。ト総の墓地の中に立っている誘導燈の姿は、どうみても「平和な



国」の風景ではありませんでした。上瀬谷で、私たちのバスの行く手を遮った警察官。彼らひとりひとり、自分がなぜそうしなければならぬのか、を果して知らされていくのでしょうか。厚木でも横田でも、こちら側と向う側を分けているのは、延々と続くサクでした。基地の中は見せてくれなくとも、サクはいくらでも見せてくれました。変なことなのかもしれないが、私が今回の「基地めぐり」で一番印象に残ったのは、目の前にある「サク」という現実だったように思います。

「休日の基地」に「うーん」となってしまう私は、今度は「働いている基地」を確かめなければいけない、そう感じています。そして何より、「体験」をした各々が、それを他の人に「どう伝えるか」が、今回参加した人すべてに問われているんじゃないか、と今はそ

## 本 今年「原爆の絵」と 「おきなわ」の図

昨年夏の「原爆の図」展の成果をふまえ、今年の夏も、広島市民の描いた「原爆の絵」と丸木夫妻の「おきなわ」の図の巡回展を県内六カ所で行う予定です。もちろん今年も、市民運動と労組・宗教者・原水禁・生協などの共同の取り組みになります。

5月には天皇ヒロヒトが植樹祭のためにやってきます。これにともない自衛隊の増強が行われているようです。「核でろ安保でろいらんばい熊本の会」もひさびさに独自の行動を起こし、自衛隊の監視・調査を行います。くまもと市民センター事務局 096・345・5904

## 沢 自衛隊違憲を前面に 第二次訴訟

日本海はキナ臭くなってきました。航空自衛隊小松基地は、ソ連へむけての最前線ということで、演習が飛躍的に増加しました。82

## 横須賀 核とかくたかたう 市民講座はじまる

副題は「とめぬなら、とめてみせよう核艦船」。大風呂敷です。参加を！ ●4月20日①「非核太平洋運動の今と未来」前田哲男 ●4月27日②「非核自治体運動のひろがり」林茂夫 ●5月3日③「核艦船差し止め訴訟の意味」大倉忠夫 ●5月12日④「核艦船と東京湾」田尻宗昭。会場、時間その他細かいことはご連絡を。予定艦入港時の抗議行動もつづけてます。非核市民宣言運動ヨコスカ 0468・25・0157

### 核トマホーク艦名、さらに明確になる 太平洋艦隊潜水艦 ヒューストン、ギタロ、 ラホヤ、サンフランシスコ、バッファロー、 ソルトレークシティー、ホノルルなど

3月1日、反トマホーク・アジア太平洋運動が記者会見し、核トマホーク搭載艦名を明らかにした。要点は日本の多くの新聞に掲載されたが、以下にその全文を掲載する。その後、同運動の責任者ネルソン・フォスター氏から本欄が直接取材した内容を加味しながら解説を加える。

#### <記者会見資料全文>

3月1日までは極秘 問合せ先：ネルソン・フォスター

#### 太平洋運動、最初の15隻のトマホーク装備潜水艦名を確認

反トマホーク・アジア太平洋運動（the Pacific Campaign against SLCMs）は、トマホーク・ミサイルの発射装置を備えた最初の米潜水艦名を確認した。同運動の調査によれば、15隻の攻撃型原子力潜水艦に装備されたが、そのうち14隻は新しい「ロサンゼルス級」である。他の1隻はより古い型のスタージョン級のギターロ（SSN 665）であり、これはトマホークの試射艦として使われたものである。

「ロサンゼルス級」とは米国の原子力推進の攻撃型潜水艦の中で最新の型式のものであり、このシリーズの最初の艦の名をとって、このように呼ばれている。他の潜水艦も同様に米国の都市の名を冠しているが、ハイマン・G・リックオーバー（SSN 709）だけは例外である。この艦は、この次にトマホークを装備する船であると考えられている。

米海軍は以下に挙げた潜水艦のいくつかのものについては、トマホーク能力艦（Tomahawk-capable）

として公然と認めている。\*印のものがそれである。他のものは、海軍のトマホーク配備年次計画表と公けに入手可能な艦隊改修日程表を比較することによって艦船名を特定した。

潜水艦の他に、3隻の水上艦船にトマホークが装備されていることが知られている。戦艦ニュージャージー、戦艦アイオワそしてスプルーアンス級駆逐艦メルル（DD 976）である。昨年トマホーク装備した二番目の駆逐艦名は、まだ判明していない。さらに2隻の駆逐艦と2隻のミサイル誘導艦が1985年に装備される予定である。

トマホーク装備と確認された潜水艦名は以下の通り〔艦名（艦番号）母港（州名）の順〕。

- \* \* \* \*
1. ギターロ\*（SSN 665）サンジェゴ（カリフォルニア州）

2. ラホヤ（SSN 701）サンジェゴ（カリフォルニア州）

3. フェニックス（SSN 702）ノーフォーク（ヴァージニア州）

4. ポストン\*（SSN 703）グロトン（コネチカット州）

5. バルチモア\*（SSN 704）ノーフォーク（ヴァージニア州）

6. オグスタ（SSN 710）不明

7. サンフランシスコ（SSN 711）真珠湾（ハワイ州）

8. アトランタ\*（SSN 712）ノーフォーク（ヴァージニア州）

9. ヒューストン\*（SSN 713）サンジェゴ（カリフォルニア州）

10. ノーフォーク（SSN 714）ノーフォーク（ヴァージニア州）

11. バッファロー（SSN 715）真珠湾（ハワイ州）
12. ソルトレーク・シティ（SSN 716）真珠湾（ハワイ州）
13. オリンピア（SSN 717）不明
14. ホノルル（SSN 718）真珠湾（ハワイ州）
15. プロビデンス\*（SSN 719）不明
- \* \* \* \*

注：プロビデンス以外のこれらすべての原潜は、魚雷発射管からトマホークを発射するよう装備されている。この手続きには、比較的軽微な発射システムの改造を要するだけであり、船体自身には何ら改造を要しない。しかし、トマホークがこのように発射される場合には通常魚雷発射管から発射される他の兵器を排除してしまうので、海軍はこのやり方に全面的には賛成していない。

この問題を解決するために、もう一つの発射機構、つまり垂直発射システム（VLS）が最新のロサンゼルス級の船には装備されつつある。プロビデンスはこのシステムを備えた最初の船で、船首の内側船殻と外側船殻の間に12本のVLS管を備えている。

現在トマホークを装備している水上艦船は第三の発射機構を用いている。それは装甲箱型発射装置（ABL）と呼ばれるものである。1986年からVLS装置が、いくつかの水上艦船に配備される予定である。

#### <解説>

前号の本欄で4隻の攻撃型原潜名を核トマホーク搭載の可能性が極めて高い船として紹介した。それが今回の発表においても\*印をつけて確認されている。1月28日にラホヤが横須賀に入港したとき、朝日新聞はラホヤがトマホークを搭載していると断定的な記事を書いた。朝日新聞が指摘している理由からは、それほ

どの断定ができないというのが本欄の判断であった。今回の発表とN・フォスター氏の示した根拠からみると、ラホヤを含めて15隻をトマホーク艦と判断するのは極めて妥当であると思われる。

N・フォスター氏たちが組織している研究調査ネットワークの活動のすべてをここに紹介することはできない。しかし、信頼のできる研究者たちのさまざまな活動の総合判断として、今回の15隻の判定が行なわれている。

一例として記者会見資料でも言及されている艦船改造についての情報とは次の通りである。

魚雷発射管からトマホークを発射する場合、発射管そのものの改造は軽微である。しかし、対地攻撃用核トマホーク（TLAM/N-これが私たちが現在問題にしている核トマホーク）の発射には、発射制御装置（fire control system）をMK113からMK117に変更しなければならず、これは単なるソフトウェアの変更のみならず船のハードウェアの改修を含む。現在このような改修のできる造船所はチャールストン、ノーフォーク、ポーツマス、メアーアイランド、真珠湾、プジェ湾の6箇所である。これらの造船所に入った攻撃型原潜の改修実績を調査するとい

う方法が、今回トマホーク艦確認の一つの有力な手段となった。

なお、核トマホーク発射装置を付けていることと、核トマホークを実際積んでいることとは、理論上は必ずしも同じではない。しかし、上の船のどれかが入港したとき、核の有無についての公けの形で検証（核チェック）をしない限り、私たちは核を積んでいると見なさざるを得ない。なぜなら、ソ連がそのように見なすことは明らかであり、軍事的にはそここそポイントがあるからである。

### 米下院軍備委員会（'84・3）に提出された トマホーク・ミサイル購入計画

前号の本欄で米下院歳出委・軍事小委員会に提出されたトマホーク配

備計画表を示したが、同時期（84年3月）に米下院軍備委員会により詳

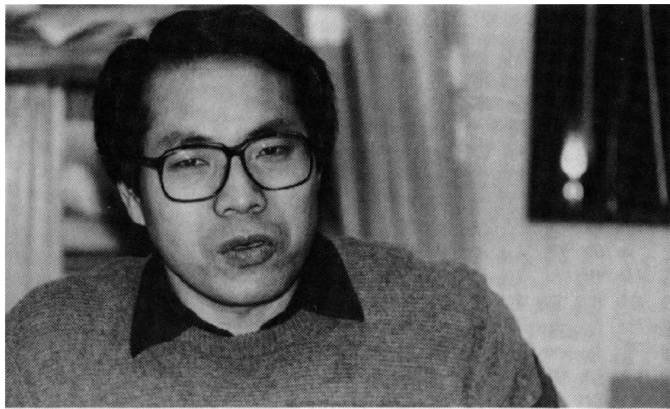
会 計 年 度	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	計
BGM・109 A・1	…	…	2	10	20	35	43	72	160	72	74	0	0	488
BGM・109 A・2	…	…	2	18	56	40	32	22	58	36	6	0	0	270
BGM・109 B・1	…	7	28	7	42	40	42	36	88	10	0	0	0	300
BGM・109 B・2	3	18	13	16	6	35	33	12	32	110	15	0	0	293
BGM・109 C・1	…	3	4	0	0	15	13	24	55	272	157	236	236	1,015
BGM・109 C・2	3	22	12	0	0	15	7	4	19	36	134	110	109	471
BGM・109 D・1	0	0	0	0	0	0	6	14	21	68	209	236	236	790
BGM・109 D・2	0	0	0	0	0	0	4	6	9	32	97	110	109	367
全 S L C M	6	50	61	51	124	180	180	190	442	636	692	692	690	3,994

BGM・109 A・1＝水上艦発射対地攻撃用・核／BGM・109 A・2＝潜水艦発射対地攻撃用・核／BGM・109 B・1＝水上艦発射対艦攻撃用／BGM・109 B・2＝潜水艦発射対艦

攻撃用／BGM・109 C・1＝水上艦発射対地攻撃用・非核／BGM・109 C・2＝潜水艦発射対地攻撃用・非核／BGM・109 D・1＝水上艦発射対地攻撃用・ディスベンサー／BG

M・109 D・2＝潜水艦発射対地攻撃用・ディスベンサー（ディスベンサーは非核弾頭の一つ）／SLCMとは海洋発射型巡航ミサイルの総称（あくまで予算資料）





## 地域に こだわって

**吉野 信次さん**

仕事が終わったら集まって  
酒を飲みながら政治論議をやったり  
そこでいろいろなことが波及して  
地域の運動になってくる場であれば

よしの しんじ 一九四二年生まれ・郵便労働者

非核宣言はやらなくて、平和宣言しかやらないというのですが、こちら側が先取りするような形で区民一人ひとりの宣言として「非核宣言署名運動」をはじめようといっているんです。どういう形で、みんなのなかに入っていくのか、みんなの意識に浸透できるか不安はあるんですが、練り上げの中間段階にいるところです。いろいろな分散させられている運動を、どうつなげるのか、そんな任務があるんじゃないかと思っています。

**吉野** 松戸の場合も四〇万都市にしては、住民・市民運動がすくなくないと思っていますが、それでも住民・市民運動がかなり広範にあるんです。けれど、そういう運動がある程度横につながり、一定の共同行動が取り組めるようににはまだなっていないですね。

力が分散しているというか、みんな小さな力のため自分の所でやっていることで精一杯という感じで、それ以上のエネルギーはだされていない。みんなが持っている個別の問題を越えたところで統一できる課題としての「反核」や、「反戦」の問題があると思います。そのへんを本気になって個別課題

## 対談

**宮本** 私は「戦争への道を許さない目黒の会」でやっているんですけど、ちょうど中曽根政権が誕生した直後の一九八三年の年明けに会を作ったんです。

昨年は、地域に入って反核の間



いろいろな人びとの出会いから  
大きな状況に対する  
トータルなテーマを持って  
地域で動く母体をつくっていききたい

**宮本なおみさん**

みやもと なおみ 一九三八年生まれ・目黒区議会議員

題意識がある程度まで掘り起こしたんですが、最近では中曽根のタカ派路線がみえにくくさせられているということと、私たちはどちらかといえば、もう一回、自分たちの内部蓄積から地域に打って出るという段階です。ですから、意気軒昂でやっているという感じじゃないですね。

**吉野** 労働運動の原点は「一人は万人のために、万人は一人のために」といわれるけれど、現実の労働運動はほとんどこの逆で、弱者の切り捨てを公然とおこなっている。

吉野 労働現場でいえば、企業が倒産したら労働者は存在できないという形で、企業の側へ包摂する役割を積極的に労働組合が果たす。そればかりか「体制を守る」あるいは「国家を防衛する」というところまで、労働運動が行きはじめちゃっている。

このような労働運動に対して、どういう形で具体的に変わっていくのか。やり方は多様だろうと思うんですけど、ぼくは、その一つに労働者が本当に労働者らしく生きていくために、地域の問題をも

う一度捉え返して、その問題と労働現場を結合して捉えるところから労働運動を組み立てることが必要じゃないか。企業のなかだけで、一生懸命やっていけばなんとかなるという組み立てじゃまずいんじゃないかなあと思っています。

こうした立場から労働運動の活動家を見ると、多くの人は、自分の住んでいる地域、子供を育てている家庭が、ただ寝に帰る場でしかないわけですよね。地域の実情などほとんど知らないんじゃないかと思っています。

私は、千葉県松戸市の新興団地に住んで五年になりますが、団地のなかでいろいろの人間関係を深めていく上で、コミュニティづくりを重視しています。地域のなかから、現代の多様な問題を考えようということ、いろいろなことをしています。その一つに、私たちの町から一〇キロほど先に海上自衛隊の下総基地があるんですが、そこが厚木基地の夜間飛行訓練（ミッドウェイなどの艦載機）の制限により代替基地にされる、夜間飛行訓練場にされるといふ米軍と防衛施設庁の攻撃ができて、八〇〇世帯の団地総会で反対決議



の運動体のなかで考えていかないと、運動体が横につながっていく条件はつくられてこないんじゃないかと思っています。

**宮本** いま『ひゃくばんめのサル』を読んでいるんです。はじめは子ザルがイモを洗って食べて、そのことをまわりのサルたちが覚えてきた時に、全体につながっていく流れができる。私たちの運動の形も、百番目のサルを目指して、ひとつひとつ、一人ひとり話していくことがものすごく大切なことではないかと思っています。

しかし、自分の街全体ではかなりの人に話しかけられるけれど、自分の隣りに住んでいる人についていえば、隣りの人というのはきついとみないうんですね。地域のなかで「ひゃくばんめのサル」を獲得していく流れをつくっていく時、パートナーとして労働者と組みたい。労働者として地域に出てきている人々と組むことを、大きな視点できちんと捉えていきたいと思うんです。

**吉野** 労働組合が、地域のなかで本当に生きるためには、地域の人たちの全体の利害を表現しながら運動することが必要だと思っています。労働者が企業の中で持ってきた閉鎖的な枠から地域に出て、多様な運動と接点を持ちながら、そこで自らも変革されながら、組合

の体質を変えていく原動力にしていく。そうしなければ地域に出ることは「あーくたびれた」ということにならず、本当の意味で労働運動にかかわっていくバイタリティーが生まれてくるんじゃないかと思っています。

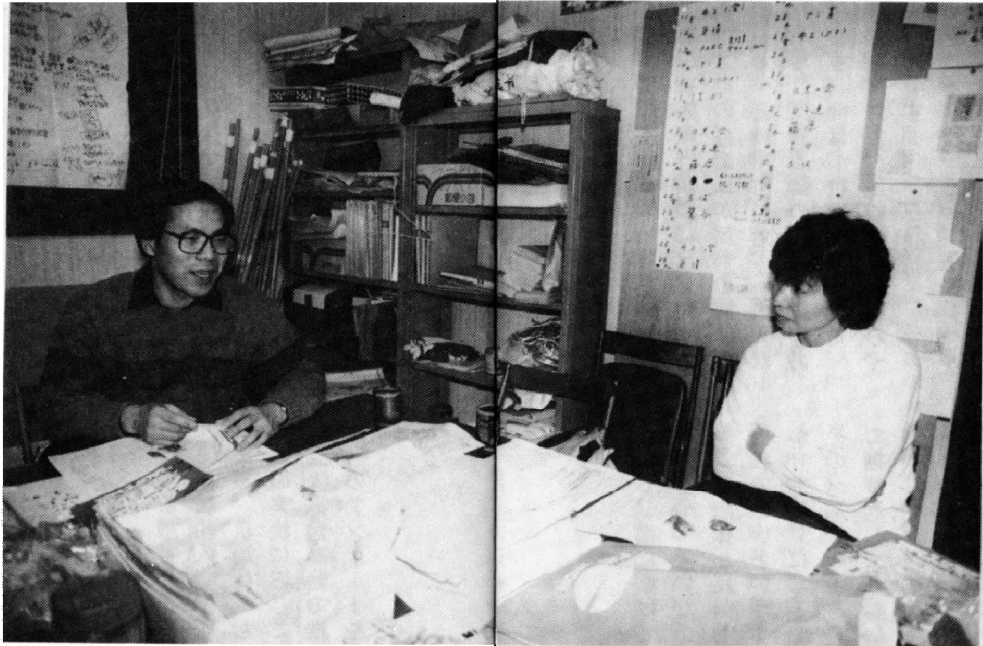
もはや労働組合運動だけで頑張っていればなんともなる、という時代ではないような気がしています。そういうことを意識している組合や活動家が集まって、地域で一定程度の力を持てばかなり目に見える運動ができてくる可能性があると思います。

体をつくっていききたいと思うんです。そのなかで核を問題として、核からはじまってどこまで安保の中味を取り上げられるような掘り下げができるかと思っています。私たちは核とは共存できないし、いつかは私たちのすべてを破壊していくことを、どういうふうな地域の人たちに伝えていくのか、そこらへんをきちんと中心に立てなくちゃならないんじゃないかと、最近痛切に感じています。

ところで労働者の場合は、どういうふうな反核を成り立たせるのでしょうか。

### 企業の枠を越えた地域での結合

**吉野** 最近、地域で三つほど考えていることがあります。一つは高度成長期以降、自分の職場の問題だけ、それもゼニ金で合理化を許し、その代償としての若干の賃上げで、自分の生活がうるおってきたかと思ってきた。企業主義の労働組合になり、地域的結合も失われて、労働現場でも合理化によって人間関係も疎外され、砂をかむような労働に押し込められてき



た。そのようななかで労働者が、政治を語るというのがごく少なくなってきた。核や安保の政治論議をすること自体タブー化されてきている。

そういうなかで、自分の職場で仕事や労働の問題と、核の問題をたぐりよせるような論議をし、自らの労働がどういう意味を持っているのかということ、積極的に捉え返す作業を行なわなければならない、と思っているんです。

二つには、地域で企業を越えて労働者が結合できる組織をつくりたいと思っています。地域の労働者のセンターみたいなので、仕事が終わったら集まって酒など飲みながら政治論議をやったり、そこでいろいろなことが波及して、地域の運動になってくるような場であればと思っています。地域で多様

な労働者と付き合うことによって視野も広めていきますし、その地域に起った問題を、その地域の労働者として、住民としてやるということによって職場にもその芽が生かされていくんじゃないかかなあと思っています。

あとひとつは、この社会は男を企業に忠実に能率よく働かせるために、その代償として子育ても含めて、生活全般を女性の仕事にさせている。この性別分業の根底に

は、性差別の問題が横たわっており、いまの労働組合運動も基本的なところで、性別分業、性差別の問題をとらえきれないのじゃないかと思っています。男だつて子供を育てる。子育て、生活を共有する関係をつくりだす努力のなかで、性別分業、性差別の構造を解体していく労働運動を追求していくべきだと思っています。

は、性差別の問題が横たわっており、いまの労働組合運動も基本的なところで、性別分業、性差別の問題をとらえきれないのじゃないかと思っています。男だつて子供を育てる。子育て、生活を共有する関係をつくりだす努力のなかで、性別分業、性差別の構造を解体していく労働運動を追求していくべきだと思っています。

### みんなが持っている

### 個別の問題を越えたところで

### 統一できる課題として

### 反核や反戦の問題がある

子育てを通じて生命の大切さというものを体得した女性の方が、本当に体で感じて、生命をまっ殺する戦争に反対できるんじゃないでしょうか。よくは、生命の大切さが分らない人が核の問題を語ってみたら、核の恐ろしさに対する反戦・反核エネルギーは生み出せないのではないかなと思うんですよ。どうでしょうか。

**宮本** 地域センターという提案は、非常におもしろいと思います。地域運動の視点を持った労働運動の拠点としても、とても地域セン

ターという発想がおもしろいなあと思えますね。

**吉野** 今年仲間の中に、核の問題、安保の問題、政治の問題を積極的にもち込み、論議できるような、活性化した職場をぜひつくってみたいと思います。労働者が、天下国家をもっと論じられる気風をつくっていかないと、労働組合は活性化しないのではないかなあと思っています。そうしたエネルギーが生みだせなければ地域にも出ていけないと思いますので。

**宮本** 八四年は、六月にむけてトマホークのスライドをみれば、これを地域でやろうとか、キャパパンがはじまれば、それをどう地域に伝えるか、原潜が入れば、地域にどう返すかという、全体の枠に対する補完としての地域の動きだった。非常に義務的に全体の動きに連帯していかねければならないという点が強かった。

けれど今年は、自分たちの足元にどういうふうな喰い込んでいくのか、どれだけの人たちに核の問題を知ってもらうのか。いままでの全体の補完としてやってきた動きを、新たな層に拡げようとしています。



## 第5回反トマ全国会議報告

湯浅一郎 トマホークの配備を許すな／呉市民の会



ビキニ・デーの翌日、40年前人類史上初めて核兵器が投下された広島に、全国のトマ喰い虫が集まった。これまで大多数の民衆の反核の声に反し、現実には核を政治の武器とする思想によって、止めのない核軍拡競争が進められてきた。

しかし、民衆も手をこまねいてるばかりではない。アオテアロア（ニュージーランド）では、神戸市の方法にヒントを得て、米核艦船の寄港を拒否する政策が実現し、ANZUS同盟に風穴をあけている。3月1日には、トマホーク艦15隻の公表と同時にアジア太

平洋運動の発足が宣言され、国際的には反トマ・反核運動はのぼり調子である。そして私たちは、アジアのNATO化や集団防衛体制への移行に反対する、その象徴として反トマ運動を位置づけ、初めて全国一斉にチームスピリットへの反対行動を展開している真最中の全国会議となった。各地のトマ喰い虫達はそうした熱気を持ち寄って、アジア太平洋運動をどう進めるか、6月東京大行動をどうつくるかなど多岐にわたる議論を進めていった。

初日は横須賀、京都、名古屋、広島、呉など各地からの報告や提起を受けて、分散会、全体会と夜10時過ぎまで議論が続いた。そのあとはおまじかへの交流会。ここで京都の作成したC.I.に関するスライドの初公開があった。

3月3日は早朝8時から始まり、10時までさらに議論が進んだ。相当ハードなスケジュールの中で、盛りだくさんな計画ができた。そのメニューはざっと以下の通り。

1 アジア太平洋運動の発足に当たり、次のことを展開する。アジア太平洋キャンペーン基金を集め

る。アオテアロア非核政策の支持表明と、中曽根・レーガンの介入抗議の4点セットのハガキをつくる。運動情報のネットワークづくり、さらに各地の自主性で姉妹運動づくりに努力する。

2 トマホークの部品製造が明らかにになった京セラへの抗議行動に、労働運動と連携しつつ全国的にとりくむ。

3 6月16日、反安保・反核東京大集会を、日韓連帯運動、反軍拡運動などの人々と共に開催する。これにはアジア太平洋運動の一環としての意味をもたせ、前段でフイリピン、アオテアロアの活動家を招き、全国ツアーを行なう。

4 5月25日、26日を軍事通信施設への反基地行動日とし、全国一斉に取り組む。

5 被爆40周年を契機にして、労働運動、市民運動の連携で開催する8・6広島集会に積極的に参加する。

6 中曽根首相あての「核チェック・核艦船入港拒否」署名運動を進める。自治体へむけたものは、地域の実状に応じて行なう。非核自治体宣言運動の推進母体や自治体へのアンケートを行なう。核問

題専門委員会を設置する。

7 全国10ヵ所以上の反チームスピリット行動の盛り上がり状況を確認し、Dデー（上陸演習の日）の含まれる3月17日～24日を監視期間とする。

8 トマホーク予定艦についての認識を明確にする。それをふまえて、横須賀等への入港時には全国一斉の抗議行動を行なう。

9 その他として、第2次アンケートの結果は首都圏で報告を作る。本誌「トマ喰い虫」は運動の輪を外へ拡げることをめざして、隔月刊程度で継続発行する。

前回もそうだったが、これだけのメニューをこなすのは大変だということも印象に残る。が、各地の運動状況を少しでも前に進める素材として活用していく姿勢が重要なのだろうと思う。

全国会議のあとは「今なぜトマホークか」と題した講演会。ハワイのジョン・ウィテック氏や東チモールのラモス・ホルタ氏もあいさつ。午後、平和公園までデモをして解散した。広島周辺での取り組みはまだ十分とはいえないが、全国会議を契機に種は植えつけられたと思う。

## もの申す!

反トマなんて知らないってわけじゃない。だけど……

・相模補給廠監視団

小西一郎

・相模補給廠は動きが少なく、

「戦争」がストリートに見えてこない基地なんだけど、それでもここは、ヨコタ、厚木、ヨコスカ等のつながりの中でまちがいなく基地としてありつつけている。そこを見逃してしまうと、つい遊休化と

いってしまうけど、そうではないんだね。ここはずっと動いていた。昨年の秋から備蓄問題がクローズアップされると、このへんを無視して、遊休化からいきなり補給廠が動き出したという言い方を

することで人々の気持をかきたてるというやり方は、もし八〇〇〇ではなくて、一〇〇〇だったときどう説明するんだろう。それは核についても言えて、たしかにM一〇九自走砲は核兵器を装着できるんだけど、それはそれとしておさえればいいことで、いきなり核だ、核だという言い方はちょっとうまくないんじゃないかって気がするね。補給廠においては、兵器、車輛、そして戦場へむけての様々な物資が問題なのであって、その中に核兵器もあるという言い方をしないと、かりに核がなかったら、たいしたことはないってところで話がおちついてしま

う。このことを一番警戒したいね。——ことさらセンセーショナルにとりあげて大さわぎするっていうのは、反トマホーク運動にも感じていることなのかなあ（笑）。・うーん、それについては口が重くなるな（笑）。——反トマホークってのはそれだけでセンセーショナルってところがあるでしょ、どうしても。一方、ずっと運動してきて、センセーショナルなだけだったらしきに行きづまるぞってのも見当がついていて、だからそうではなく、できるだけ地に足をつけて、とやっていると

まうけど、補給廠、座間、という陸軍の基地をニラんでみると、よけい核だけではぬりつぶせない状況があるんじゃないかと思うんだ。だから、反戦というのが基調にあって、その中に反核もあるし、反軍も反基地もあるっていうのだとすなおに入っている（笑）。——もうすでにね、キーワードなんかではないのですよ、反トマは。それだからこそ、個別課題としてこれからだぞって気持はひそかにあるんだけどね。・相模原でも戦車闘争というひろがった運動があって、それがいつのまにかなんにもなくなっちゃったでしょ。そこをくぐりぬけてなにかやってきたボクらは、あの影響を強くうけていて、全体をどうするかという前に、相模原でどうするかとか考えられなくなっているのかもしれないな。ただ、すこし言わせてもらえば、最近はやりの横結ね、あれにあまり意味

## 戦場そのものの 沖縄

「戦後40年の節目に『うなり』をあげる沖縄基地。異常ともいえる過密スケジュールの演習（2/8沖繩タイムス）——チームスピリット85に組み込まれた沖縄での米軍の演習は、一カ月にわたるもの。25日。その特徴を洗い出し、てみると——

## 今日の安保

① チームスピリット演習の背景をなす「空地戦教義（敵国の首都など後背地を直接攻撃、占領する）」にもとづく個々の作戦訓練が行われたこと。復帰後、初めて表面化した陸、海、空、海兵の四軍合同演習である「コープ・エアリフト（戦闘即応訓練）」は、フィリピン・クラーク、横田から飛来したC130輸送機が伊江島へ部隊を空輸。降下、戦闘、基地建設訓練を行った。昨年



移駐したばかりのグリーンベレー（SOF）もこれに参加、特殊降下訓練を行った。

② これとクロスする形で行われた第7艦隊、海兵隊の強襲上陸演習「バリアント・アシャー85」も、ヘリコプターやAV8攻撃機を駆使する「内陸侵攻を想定した演習（%沖タイ）」であり、「朝鮮半島有事、対ソ戦略上の一環であることは疑いない（同）」。

③ 戦術核兵器の使用が前提にされていること。過去にない短い間隔で二回も行われ、しかも質量ともに最大規模だった海兵隊の実弾演習に使われた一五五ミリ二〇三ミリ両砲は中性子弾を含む核砲弾の発射が可能。また、核模擬弾とおぼしき空中炸裂弾の使用も目撃されている。チームスピリット85の直前には、

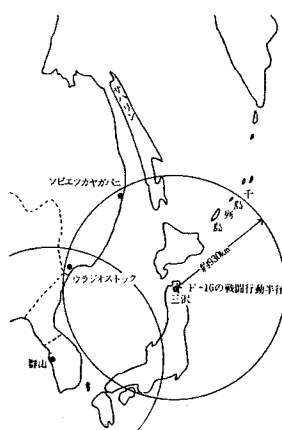
朝鮮民主主義人民共和国が「野戦携帯用特殊核爆発装置（SADM）」が在韓米軍に配備されたと発表。運用はまちがいがなくSOFであり、「コープ・エアリフト」「バリアント・アシャー」でもその訓練が行われた疑いが強い。

④ 後述する在沖海兵隊の雪中訓練や、瀬戸内海での海上自衛隊との機雷敷設・掃海合同訓練（2・15～27）も見逃してはならない。

## 海兵隊と陸上自衛隊 上富良野で雪中訓練

チームスピリット85に連動して北海道・上富良野では2月14日から23日まで、在沖海兵隊と陸上自衛隊の初の雪中訓練が行われた。日高山系の東側に侵襲してきた敵に日米が共同して反撃するというシナリオで行われたが、想定戦場は朝鮮半島であると同時に、「北方四島」またはサハリンである可能性が強い。「極東有事」はソ連海軍封じ込めのための三海峡封鎖を必然としているが、「（ソ連が）宗谷海峡の確保のために、道北を限定的に占領して支配しようとしている」というなら、同じ論理で日米連合軍は海峡を封鎖するために、

軍事民論39号より



## F16の三沢配備 はじまる！

米軍は青森県三沢基地に、核攻撃能力をもつF16戦闘攻撃機48機の配備を明らかにしていたが、4月2日、最初の3機が実戦配備された。行動半径九三〇kmのF16三沢配備は、ろこつな対ソ核攻撃の前進配備であり、すでに約50機が配備されている韓国・群山基地のF16との統合運用が計画されている。搭載される核爆弾はB43、B57、B61。また、三沢では配備にともなう人員増のために、日本政府の「思いやり予算」によって住宅の増設がすすんでいる。トマホークと同じ先制核攻撃力、F16配備阻止を合言葉に！

## 「中央指揮所」の Q&A

### 山川暁夫さんに聞く ・評論家

Q 「中央指揮所」といっても、報道も少なく、一般にはほとんど知られていません。そもそもどんなことをする所なのですか。

A 文字どおり、自衛隊を指揮する最高中枢機構、昔でいうと大本営ですね。東京・六本木の防衛庁内に地上2階、地下3階で作られ、84年3月から運用を開始しています。機能的にはアメリカのWWMCCS（ウイメックス・全世界軍事指揮統制システム）に横田基地経由でつながっているとされています。日米共同作戦体制と自衛隊の国軍化がいよいよ本格的になったということです。

Q そんな大変なものがいっぱい国民の目をかすめて、いったいどんな決定に基づいて設立されたのでしょうか。

A 78年11月27日、日米間で、「日米防衛協力指針」というものがまとまりました。「ガイドライン」といいます。これが事

実上の安保改定だったのです。現行安保の条文を越えて、日本が常時（平時でも）米軍と共同作戦体制に入ること、自衛隊が日本の「領域のみならずその周辺の海空域の防衛責任をとる」ことが明記されました。つまり、自衛隊が米戦略に正面から加担する「アジアの軍隊」になった。それにともなう自衛隊体制のひとつが「中央指揮所」なのです。もともとガイドラインをまとめる作業をした日米防衛協力小委員会は、当初米軍が75年に「日米共同作戦調整所」を作りたいと提案したことにもとづいて、76年から作業に入ったものです。ですから防衛庁は、ガイドライン合意のあとから「中央指揮所」開設の意向を明らかにし、その準備をはじめたのです。

Q しかし、だからといって、そのような国家の機構を勝手に作ることができるんですか。

A そここが重要な点です。少なくとも今までの防衛関係法では、「中央指揮所」の設置を認めていませんからね。私も法律改定の手続きが必要だと思っています。しかし、実際にはカラクリに近い方法を使った。つまり83年の第一〇〇回国会終了時に、国家行政組織法の一部改定法を成立させ、行政改革に必要な措置を政令でやれることにしたのです。この法律一本で関連二〇三本の法律が自動的に改定され、そのひとつとして防衛庁設置法も修正されることになった。これで統合幕僚会議の「事務」について必要な事項は、政令でできることとなり、それによって「中央指揮所」ができてしまった。実際には政令でさえない、防衛庁長官の訓令という形です。現行法では統幕、つまり制服には陸海空の連絡調整の任が与えられているだけで、指揮権はありません。建前上はシビリアン・コントロールの原則をとっているからです。それを単なる「事務」事項にすり替え、しかも国会を通さないう政令というやり方で、指揮権を持つ機構にかえてしまったのです。このことの持つ意味は重大です。



# 自衛隊山岳軍事訓練 を許すな！

## 自然保護団体と 手をくんで

### ●山城民衆会議

84年8月21日より23日まで、陸上自衛隊第3師団45普通科連隊（京都府宇治市）の三八〇名が、吉野熊野国立公園の大峰山系で山岳軍事訓練を行ないました。地元自然保護団体、社会党奈良本部、関西各地の反戦団体、自然保護グループなどの中止要請を無視して訓練は強行されました。

訓練強行に対して私たちは、地元の自然保護団体「大台が原・大峰山の自然を守る会」（以下「守る会」）などと共同して、現地での抗議監視行動に取り組みました。  
**第1日目** 自衛隊は約60台の車輛で入山口に到着。車輛、通信、支援などの隊員を残し、約二七〇名が、「守る会」を中心とした抗議団の「霊場を軍靴で汚すな！」な

どの横断幕を無視して入山。和佐又山スキー場で幕営準備に入るが、激しさをます雨に全隊員が小屋に逃げこむ。たまたま生物研究で合宿中の京都の高校生グループは、異様な軍服姿の集団にとまどいをみせていた。

**第2日目** 隊員たちは小雨の残るなか、午前7時すぎより30名ほどの中隊にわかれて小屋を出発。尾根つたいに弥山まで約20km。私たちは弥山小屋まで別の山道を登り、先まわりして待ちうける。

雨は昼前にあがったが、彼らの到着は第一陣が午後5時。その後バラバラと到着し、最後尾がついたのは日もとっぷりくれた午後7時30分。私たちはここでも「山岳軍事演習を中止せよ」の横断幕を

かかげて抗議した。  
夜は、体力の残っているものが二カ所のキャンプ場で幕営。その他は小屋に宿泊。

**第3日目** 隊員たちは朝6時ごろ起床。朝霧の残る小屋のまえて中隊ごとに体操や朝礼をおこなう。そして、午前7時すぎより中隊ごとに下山、帰路についた。

「軍の論理」の優先を許すな！

今回の訓練が、①単なる体力づくり訓練か、②国内での対ゲリラ戦を想定した訓練か、③朝鮮半島などへの海外派兵を想定した訓練か、残念ながら私たちには確かめようがありません。

「守る会」などの取り組みや、国立公園を管理する環境庁の要請で、武器の携行は一応中止されました。しかし、自衛隊幹部は「山地行軍ののち任務を遂行するため、訓練に武器の携行は当然であり必要」と公言しています。このことから考えても、私たちは「単なる訓練」という自衛隊の説明を信じることはできません。

訓練がおこなわれた大峰山系は、近畿で原生林が残されている数少ないところであり、高山植物は一五〇種が分布、カモシカ、クマ、

シカなどの動物も棲息する山城です。また千数百年の歴史をもつ山岳修道場の霊場でもあり、市民のリクレーション、キャンプ地としても適したところです。自衛隊はこのような山城に軍靴で踏みこみました。

演習によって被害をうけるのは市民です。そしてそこでは「軍の論理」が優先させられています。米原潜が日本の漁船「日昇丸」をあて逃げした事件では、米軍は人命よりも軍事機密を優先させました。私たちは、市民の権利や生命より「軍の論理」を優先させるような動きを許して許してはならないと思います。  
最後にひとこと。「自衛隊はいらん」

### 自然保護大会案内

6月8日から滋賀県近江八幡市宮ヶ浜国民休暇村で第15回自然保護大会が開かれます。「原発、核、軍備と自然保護」の分科会には山城民衆会議の現地報告のほか、反トマ全国運動関係者も多数参加の予定。お近くの方は（もちろん遠くの方も）ぜひ琵琶湖大会に参加を！

## 鹿児島からはじめまして 「いま鹿児島で何ができるか」 を考える会

鹿児島から挨拶を送ります。日頃のご活躍、共感して見えています。毎度全国会議の案内を受けながら二の足を踏んでばかり、このたび寄稿依頼を受け、今更すまなく存じています。「主張」欄のことですが、今後お付き合いを願う意から、この際私たちの会の自己紹介をもって代えさせていただきます。発足して2年余、試行錯誤で過してきて、その間おのずと身につけてきた会の作風らしきものを述べてみます。

1 きちんとした組織化をめざさない。規約、運動方針、役員、何もない。会員といっても金銭を含めて義務などなく、かわり方はすべて自己責任に任される。ルーズにもきびしくもとれ、またそこを使い分けもできる。これで結構うまく動いているのは、目的意識、責任倫理といった市民社会的な規範の働きよりも、相互信頼、助け合い、義理堅さといった地域

共同体的な生活態度が作用しているふしがある。会が活力を失ったり、なにか会員を傷つけるようにでもなったら、いつでも解散するつもり。

2 会は、原発、公害、反戦反核、日朝日韓、障害者、部落、有機農業、教育・労働運動等、かねてなにかしややってきた者たちの連合という性格をもつ。一応、川内原発が中軸、反戦反核が統合課題といえるが、ともかくなんにでも頭をつっこんでガタガタやる、マルチプレイ（多種目演技）が会の特徴。戦略的課題に徹しきれない恨みはあるが、しかし凝集力を働かせるためにも、遠心力を思いきりきかせるという理屈。諸課題はすべて通底しているとはいえないものの、それぞれに直接かわってはじめて見えてくるものが実際は多く、視野が広がってきたとはたしかな実感。

3 運動を生活や地域に根付かせ

### 私の主張

る。大状況を捉える場合、必ず小状況へ回路を繋ぎ、フィードバックして捉え返すことを試みる。運動としては、生活や地域に接地した所で具体的に現われ出てくるものをつかまえて、そこからほぐしたり、ほがしたり（ほり崩したり）、変えたりしていく。会員からは精神病院の人権問題、給食をめぐる問題等々、実に具体的な形で問題提起がなされるので、一つ一つ押えていく。なかなかストリートは打てないので、手の届く所で数多くジャブをくり出すという気分。

4 労市協調。総評系組合との間に太いパイプが通じているので、これを最大限活用する。この協力関係は会にとっても大きい。労働運動の側にも刺激を与えている。しかし中央志向、中央依存が強い鹿児島社会の特徴は総評―社会党系運動にも投影されているので、この協力関係がいつまで続くかという問題はあつた。たとえば、先般の社会党大会で、原発鹿児島社会党は中央執行部案に遠慮して修正意見に加わらなかった。このことについて私たちの会は、社会党本部に遺憾の意を申し入れた。

このパイプを通して、右翼的労働戦線統一や自衛隊違憲合論等への批判意見をこれまでどおり送り続けていく所存。

5 その他、運動の作り方として留意している点は、なるべくオリジナルで手づくりの運動、遊びや祭りの精神を取り入れた運動、呑ん方（呑み方）や日常の付き合いを大切に等々、きりがないので以下省略。

ところでこのような会の作風に欠点が多いことは自覚しています。好評にまじって事実いろんな批判も聞こえてきます。いわゆる情緒的で理論性に欠ける。セクトアレルギーが強すぎる。中央に対する反発や、よそに対する批判心が強く、鹿児島モノロー主義に陥っている。マルクス主義から逸脱している等々。それらの中には多分に首肯できるものもあります。

そこで最後に私なりに自己批判しておけば、会の作風に及んでいいる鹿児島的なものの作用という点はこの際措くとして、私たちの会には旧来の運動―とかく官僚主義、指令主義、中央支配、政治主義、教条主義、セクト主義等々を伴う―に対する反発心がとくに強く、それに対するアンチテーゼになっ

ているが、逆にその段階に囚われてしまう傾向があり、より自在の運動をめざすためには、もう一つ前方へ突き抜けなければならない、そんな感想が強いのです。モノロー主義といわれるのはともかく、

## 英炭労の闘いと反核 まずは反対の根拠を、 そして、我々のオルタナティブを ●J・バロウズ

——英国では、炭坑労働者の闘いと反核運動はどのようなつながりをもっているのですか。

**バロウズ** 労働運動と反核運動の共闘以前から、すでに始まっています。英炭労（NUM）は核軍縮キャンペーン（CND）に全国組織のレベル、地区別、また個人としても加入しています。私自身もCNDに英炭労全国委員の代表として、また地区労としても参加しています。ですから、日常的に反核運動の人たちとは、緊密な連絡をとりあっています。ただし、この11カ月間はストライキのためほとんど反核の方には参加できなかったんですが、しかしNUMは常

にCNDの全国会議には代表を送りだしています。

CNDはひとつの政治組織ではありません。炭労以外にも他の組合や、教会、市民運動等が幅広く連合する全国運動です。その中で私たちが炭坑労働者の立場から発言しますし、他の運動との横のつながりが生まれています。

——英炭労がグリーンナム・コモンの女たちへ石炭を送る等の支援活動を行なってきたと聞いていますか。

**バロウズ** グリーンナム・コモンの女たちは、男の組織が介入することを非常に嫌います。彼女たちが最初の強制立ち退きにあった時、

NUMはグリーンナムに炭坑労働者の支援を送ることを申し出たのですが、自分たちだけでいいでしょう、とのことで断られました。しかし私たちは、充分理解しあっています。

NUMの婦人部はグリーンナム・コモンの女たちと常に緊密な関係にあり、十一カ月に及ぶ私たちのストライキに、グリーンナムから資金その他が送られてきました。私たちも彼女たちに、石炭その他の暖房用具を送りつけてきました。

彼女たちはとても自立していて普段は支援や助けといったものを拒みます。しかし炭労のストが続く中で、今まで自分たち以外の政治活動に関心がなかった人々が、炭労が続けてきた支援を認めてくれたのです。グリーンナムにかけられてきた弾圧と同じことが、炭労のストにもかけられていることを知って、共通の理解が生まれたのです。

私の個人的意見は、グリーンナムでは女たちが中心になった闘いを進めることはすばらしいと思うのですが、それだけでは少し狭いと感じます。もう少し、他の運動体との共闘をつくっていくことが必要でしょう。私がこのように言う

ることです。

——英炭労は独自のエネルギー政策をもっているそうですね？

**バロウズ** サッチャーは、今後12年間で12基という原子力発電所建設計画を打ち出しています。一年に一基というわけです。これは発電所の石炭使用を減少させます。さらに、サッチャー政権は核エネルギーを導入することにより、炭坑労働者、運輸労働者の問題は（大量首切りにより）政府としては解決できると公言しているのです。

私たちは、エネルギーについては石炭を使用すべきと主張しています。現在どおり、年間2億トンの石炭を採掘すれば、英国では、あと千年は石炭でまかなえるのです。私たちは石炭を使う発電で新しい技術を開発しました。石炭を単に燃やすのではなく、地床にある石炭に圧搾空気を流し石炭を液化させるのです。それを燃やせば、石炭から出るガス煙を出さず、大気もよれず、さらに酸性の雨を防ぐこともできます。このプロジェクトは今、まさに開始されようとしています。危険で労働者を大量失業させる原発にくらべ石炭はすぐれた資源です。炭坑労働者は今までのように働くことができ、

さらに多くの人がこの仕事にすることができず。私たちは現在の仕事と環境を守り、効果的なエネルギー生産を開発することを政策としています。

——労働者からみた英国の反核運動について、意見を聞かせてください。

**バロウズ** 反核は労働者階級だけの問題ではないのは明らかです。しかし労働者としては、核の問題は兵器とエネルギー問題両方を取りあげて議論すべきだと思います。核エネルギー導入は、労働者の雇用を促進するものではまったくないからです。核の恐怖だけでなく、労働者の権利も主張すべきです。政府は昨年来、「核戦争に対する国民の防衛について」という、ぶ厚いパンフレットを発行しました。まったくバカげた内容で、隠れることのできる頑丈なテンプルを用意しろとか、窓ガラスに紙をはりつけるようにとかいうものです。このような情報をいっただこの国民が信用するでしょう。「防衛」といっていますが、今すすめられている核軍拡は、攻撃のためであるのは誰の目にも明らかです。今、英国では、労働組合とCNDが一緒になって、集会、ピラ作

と炭労の女たちからもいつも批判されるのですが。もしグリーンナムで警官による強制立ち退きの動きが日常化し、土地管理人による裁判が始まれば、炭労はもろろんのこと他の組織から男であれ支援に参加すべきだと思うのです。

炭労で闘う女たちは、男よりも女だけのピケストの方が、警官の弾圧も軽く、結果としては成功したといえます。確かにそうで、その意味ではグリーンナムに男も加わるべきと主張するのはまちがっているのかもしれませんが、しかし、闘いがさらに前進すれば、より広い組織からの支援が必要になってきます。支援の原則は、組織に介入するのではなく、闘いに参加す



人はマイクをとるのです。

労働者は非常に行動的です。もはやだまって政府の政策を聞くことはなくなりました。より広範な人々とながらる場合、まずは反対の根拠を、そして我々のオルタナティブを出しあうことが必要です。それから行動は始まるのです。

ジョン・バロウズ氏は、イギリス炭坑労働組合（NUM）ダービシア地区財政部長。この2月、11カ月に及ぶ炭坑ストのさなか、全国労働者討論集会に参加するため来日した。

## ともに学ぶ、ともに創る 知らないこと、わからないことを 大切に ●「チヨイス」自主講座

私たち「チヨイス自主講座」は昨年秋スタートしたばかりの集まりです。きっかけとなったのは、一冊の本、『チヨイス』①との出会いでした。

この本の副題は「核戦争か希望か」。核大国アメリカ合衆国で作られた、核兵器全廃の立場からの平和教育カリキュラムです。米国の科学者たちと教育者たちが知恵



を持ち寄り、練りあげた教材で、教師と生徒が教室ですぐ始められる内容になっています。もともとは中学生向けに作られたそうですが、八三年には「全米三〇〇校以上の中学・高校で活用されている」とあります。

単元は全部で一〇課。「核戦争についてなぜ学習するのか」に始まり、まず最初に「個人レベルの紛争」を取りあげ、原因や解決手段を探りながら、対話や交渉の大切さを学ぶ。次に「集団間・国家間の紛争」と展開されていきます。

「核はダメ！」と公式的に教えこむのではなく、生徒たちが核戦争について知り、考え、判断できるような材料が工夫され、提供してあります。ゲームや討論をしながら各課を段階的に進んでいくと、

生徒たちは最後の「一〇課で、創造的な未来を『選択Ⅱチョイス』でできるように構成されています。

第三世界への視点が欠けていること、訳文がお粗末という難点があります。発想の柔らかさやポジティブな学習方法など「やったね！」です。

『チョイス』を見て、「いいなあ。こんな授業なら受けたい！」と思ったことがバネになり、さっそく友人と話し合っ「チョイス自主講座」をやろうと考えました。呼びかけ文を作り、顔の見える範囲に配りました。

うれしや一三人（呼びかけたほとんどです）が集まり、十月から「授業」開始。月二回、土曜夜に二〜四時間のペースで「教室」を

開いています。「クラスメイト」は二五〜三六歳。全員女性（男を差別したのではないよ）。みんな仕事もち、うち二人は子供もちです。そして、集会やデモ未経験の人たちばかりです。

「チョイス自主講座」のポリシーは、「ともに」という姿勢です。わかっていない人からわからない人へ、知っている人から知らない人へという一方通行、帰りが道がない関係ではなく、お互いに知る、学ぶ場でありたいと思っています。

現在は、『チョイス』をもとに私たち用のワークシートを作り、参考資料を加えながら学習を進めています。時に応じて「課外授業」もあります。

たとえば、カールビンソンが入港したときは、「インタビュート」をやりました（TVで放送記者が横須賀市民に「カールビンソンの入港をどう思いますか？」と聞いていたあれです）。

「不安だけれど、自分にとってどんな意味があるのかわからない」

「私も。新聞やテレビでニュースの大きさはわかってても、どのような問



## 私の主張

題なのかわかりやすい説明がないし……」。

これは感想の一部ですが、こうして、「何がどうわからないか」をみんなで共有しながら、次には「じゃ、どういうことなのか考えてみようよ」と話し合いを進展させていきます。

最近、副読本として『核に減ぶか?』を選んだのですが、メンバーのひとり「私、この本を高校時代の友人一〇人にプレゼントしよう！ 育児中だと核のこと知る機会がないと思うの」と宣言、本代を貯金中。また、別のメンバーは、「友人にこの集まりのこと話したら、参加したいなって。こんど連れてくるねっ」。

おそらく既成の「運動」側からみれば、「無関心層」として映るはずの人たちが、じつはこれだけ能動的な働きかけをするという事実。これはすごいことです。

「反トマホーク」運動の輪も、「トマホーク? うーん」という人々の気持ちをていねいに受けとめていくと、きっと力と広がりを生むと思います。

①労働旬報社刊 一六〇〇円

②高木仁三郎・前田哲男共著 怪書房刊 九八〇円

# 国をいさぐる学びあい◎林郁

ずいひつ

中国残留孤児のY子さんは一昨年父がみつきり、中国人の夫と二児を伴って一時帰国した。日本滞在のあいだ継母に冷遇され、財産分与の問題にもまれ、神経を病んで中国へ戻った。彼女を見送って私は一息ついた。

私は小著『満州・その幻の国ゆえに』（筑摩書房）で、「満州」と戦争の後遺症を書いたが、細腕の物書きの悲しさ、大勢の孤児を背負うことはできない。Y子さんは転売や大病で苦労して育ったが、幸い良い夫と子に恵まれた。中国で幸せになってほしいと私は祈った。

しかし、ほどなく彼女は「一家で永住帰国したいから身元保証人になってほしい」という手紙をよこした。「私は侵略国日本の身代りとなって苦しんだ日本人ですから、祖国で暮らしたい。私は学校へ行けませんでしたから、子どもには日本で十分な教育を受けさせ

たい。親族に頼らず東京に住みたいので、手続きをして下さい」

私は日本が理想郷でないことを具体的に彼女に知らせた。すると、「私は再び日本から見棄てられるのか」と嘆き、「永住の意志は変わらない」といい、再三の頼み。私は保証人になり、もうすぐ一家がやってくる。

昨年、知人のM子一族が十六人一緒に私費で永住帰国したが、日本語はできず、就職口もなく、前途多難である。日中国交回復後に永住帰国した人は約五千人、このところ帰国者が急増している。

今年は孤児の肉親探しが急ピッチで進められ、身元未確認孤児も帰国できることになったので、帰国者はさらに増えるにちがいない。それなのに受け入れは不備で、「また再びの棄民」。中国ももて余して日本へ帰したような人もいるし、素直な人も、帰って一年もすると神経を病む。日本語が修得

できないため、誤解が誤解を生んだり、世話をする日本人も疲れた。裏切られたり、怒ったり。

日本人の根づよいアジア蔑視、管理、選別、競争、いじめなど日本社会が病んでいるために彼らも病むというケースが多い。中国からの帰国者やアジア難民の状況は日本社会を映す鏡である。発狂、自殺、他殺、うつ病などの不幸があってもなお経済大国日本に住む現状をどうしたらいいのか。

さし当たって、日本語しか通じないこの国で庶民が生きているのは日本語が要る。東京では孤児二世の高校進学問題が少し前向きになった。「日本語学級を考える会」の菊地先生、葛西中の岩田先生、葛西小の善元先生、徳永先生などの働きかけのおかげである。近々「引揚者の教育の保障を求める声明」を出す、そこには「二つの言語をもち、アジア諸国との架け橋になれる子らを育てたい」とい

う願いがこめられている。

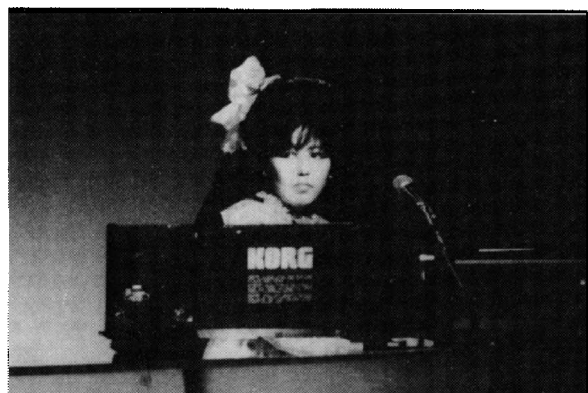
せっかく異文化の良さをもって人々から、まず日本人が何かを汲みとったなら、日本人のためにもなるのだと私たちは言い合っている。過日、日本語学級の先生たちの設営で、韓国・朝鮮、中国の家庭料理を食べ、歌い踊る集いをもった。力づよいオモニの歌声にのり、私は思わず踊りだし、自然にみんなも踊りだした。料理もおいしかった。国境をこえるということは、実際に異文化にふれ、一緒に食べ、共に泣き笑うことから始まるのだと改めて感じた。

食べ、歌い、踊り、中国語、韓国・朝鮮語、日本語などを学び交わして学んでゆけたらいいな、そこにY子さんたちも入るといいなと思う。実際、日本人だけの管理化された学校より、日本語学級の方がはるかにおもしろいから、各地に日本語学級を、と思う。

# メディアの中から

## 子どもができてみて、核のことがとても怖くなりましたね

小嶋さちほ 1958年生まれ  
ゼルダ（ロックバンド）



も子どもがいて子どものためにかわいそうだから、離婚は見合わせた方がいい」なんていうから「いやしかし、ドイツのケストナーという作家にいわせると『離婚しないために不幸な子どももいる』って書いてあった」とか（笑）ってやりとりやるわけ。それから「なんとか私も離婚しているんじゃないの」っていうわけね。「うちの場合には父ちゃん女をつくって逃げちゃった」とか（笑）、「なんとかの家はどうしたんだよ」（笑）。

さちほ って子どもがいうの？  
ナトリ そう、お互い大変だなんて、テレビとか見ていると、絵に描いたような仲の良い家族があつて、テール丸みながら「さちほさん、学校のほうはどうですか？」「さちほねえ、きょう学校で先生にほめられたの」って（笑）、教科書に「だんらんをしましょう」って書いてある。  
さちほ 「だんらんをしましょう」って（笑）。  
ナトリ 生活時間を合わせてなるべくだんらんを持ちましようって。それで「正しいお茶の飲み方」（笑）とか「訪問のしかた」とか出てくるわけ。そういうのいくらなんでもバカバカしいじゃない。「じゃあおい、だんらんって何？」って聞くわけ。と、子どもも「そういえばうちもやったことないもんね」。職員室でも聞くんだよな「ところで先生の家だんらんっていうのなさいますか？」（笑）。誰もいないんだよねやってる人がね（笑）。

さちほ どういう意味だろうね、だんらんって。  
ナトリ うちなんかうまくいってないってみんな思ってるのね。親の仲が悪いとか、父親は全然家をかえりみないとかいろいろあるじゃない。そのくせ子どもにだけはいろいろ負担がいくのね。「藤沢に無理して家を買ったのはお前のためだ」とか「勉強部屋も作ったんだから勉強しなさい」っていっぱいいうわけ。家のな

# おもしろ対談

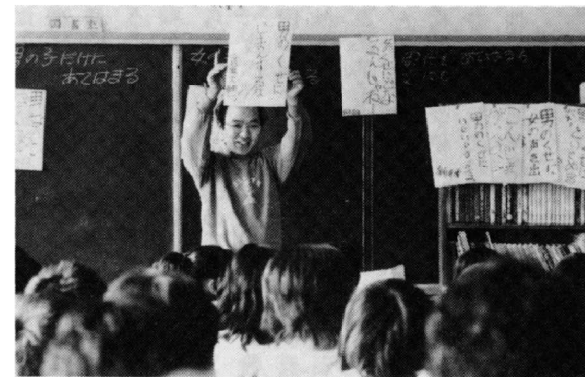
## 「気楽さ」をつぶそうとするものにはクレームをつけていかないと

名取弘文 1945年生まれ  
村岡小学校（家庭科教諭）

さちほ お料理とか教えているんですか？  
ナトリ 料理も教える。刺し子の花ぶきんを作ったり、ゴミ問題の調査をやったり、薬について調べようってサリドマイドの問題とか、そんなの子どもがやっています。僕はそばで見ているだけ。  
さちほ へえー。  
ナトリ バンドはいつからですか？  
さちほ 高校卒業して少したってからです。最初ミニコミを作ってたんですよ。両親が離婚したとき家出しちゃったんですけれど、電話番号のバイトをしたら誰もいないからコピーを勝手に使って五〇部くらいからミニコミ出してたんです。それで、それを読んだ『ミュージック・マガジン』の人とかがインタビューに来たり原稿書かないかっていうことで、「書く道」っていうのにも入ったんです。  
ナトリ どういうミニコミ？  
さちほ その頃の日本の音楽産業って洋楽志向だったんですね。そうじゃなく、日本語でもっと日常に根ざしたロックがあるはずだって、日本のバンドばかり扱ったミニコミだったんです。  
ナトリ それは一人で始めたの？  
さちほ そう、全部一人で。  
ナトリ なんかすごいんですね。僕な

んかすぐに教師になっちゃったからでも学校の輪転機で一生懸命ビラばかり作っていたけど。しょっちゅう駅前行ってビラ撒きばかりやってたよ。一度ね、組合の指導者になろうと思って役員に立候補したんだけど、それがちょっと変な話なんだ。仲間が立候補するっていうんで、声明を千枚ぐらい刷って郵便局に出しに行ったんだ。そしたらあとから彼がオートバイで来て「やっぱり立候補すんのやめたよ」っていうから、「ああそうかい」ってすぐにそれを持って帰って。しかしせっかくビラ刷って封筒の中に入れたのにもったいないから、誰か代りに立候補しようってマジックで塗って（笑）、横にナトリヒロフミって書いて、また出しに行っただよな。  
さちほ すごいですね（笑）。  
ナトリ それで演説をするんだよね。それがもうやってみたくて。あの大きな舞台でしゃべるのいいじゃない。「ロシア革命の時のレーニンはこの角度で帽子を振っていました」とかそんなことばっかりやってたら、ヤジがいっぱい飛んでね。それであえなく落選。ガッカリしたね。その後指導者になるのはやめて、周辺からジョークを飛ばす係。  
いま家庭科の専科になって六年目、わりとおもしろいものを作ろう

映画「おもしろ学校のいち日」より



って考えがあるから、学校の前の雑草を取ってきて食べるとか、夏みかんをもらいに行つてそれでマーメイドを作るとか、あとは一緒に何か作ろうっていうパンを作ったり。それから家庭や家族とは何かっていう話も出てくる。たとえば、僕自身が離婚をしようかと思っていたころには、教室でその話をしたわけ。「うちの場合は子どもが三人いて、奥さんのもとと小学校の先生。最初は恋愛結婚でうまくいってたんだけど、どうもスレ違いがいっぱい出てきてうまくいかない。離婚しようと思ってるんだけどどうだろう？」って五、六年生に聞くわけ。子どもは「三人



ないなんていう。そうすると子どもも途中でもう、わかんなくなるのね。「なんだかしかし、家族ってムチャクチャだね」なんていう話になる（笑）。子どもの意見としてはね、家族って家族だと認めあったらどうしだっていうの。

さちほ ああ、なるほどね。

ナトリ 僕なんかが教師になった時は、人口急増の時代だから神奈川県は面接だけで誰でもかたでも採ったんだよね、良かったよ（笑）。いま難しいじゃない教師の試験。教師用の受験雑誌があるんだよね。そのグラビアなんか僕が載ってるんだけど、載ってるほうは受からないという不思議なカラクリがある（笑）。さちほ 私もそう。自分は全然大学とかに行っていないのに『大学受験ラジオ講座テキスト』とかにコラムを書いているんですよ。

ナトリ どんなこと書くの？

さちほ うん、もう何でもいっていいから適当なことばかり。

ナトリ 昔から書くの好きだった？

さちほ 好きですね。ミニコミを始めた頃は書きたくて書きたくてしょうがなかった。でもいざ依頼があった締め切りが明日とかになると、かなり陰うつな気持ちになりますけど、書き終わるととってもうれしい。私、

異様に字が汚ないんですよ。漢字も知らないし。でも活字になると一応偉そうに見えるからうれしい（笑）。ナトリ そうですよ、活字の世界は恐ろしいですよ（笑）。舞台のほうは燃えますか？

さちほ そうですね、ちょっと違うような人格が出てくるというか。

ふだんはもう、一般的に言うトロイっていうような性格なんです。家ではオバサンしてるし。だけどステージに出るとそういう部分っていうのはサラッとなくなっちゃう。

ナトリ 赤ん坊がお腹にいた時のこと、それと自然についてどう？

さちほ 赤ん坊がお腹にいる時っていうのはものすごく神経質になって、とにかく空気の悪いのとかが異様に気になったんです。私ヘビースモーカーで一日二箱は吸ってたんですが、お腹にいる時は気持ち悪くて吸えない。お酒も飲めなくなっちゃって、コーヒーも一日五杯くらい飲むんですけど、気持ち悪くて飲めなかった。

つわりとかは一切なかったんだけど、自然にこう、赤ちゃんが有害物質を遠ざけているから「ひょっとして、超能力がある子が産まれるんじゃないかな」とか（笑）考えたの。

ナトリ ありそう？超能力（笑）

さちほ 最近じゃそういう気は全然

いなことをいう。さちほ 学校で誰かれのコンサートへ行っちゃいけないとか規制するんだもんね。ほんとに異常だと思う。ナトリ だいたい子どもがくだらないとかおもしろいとか自分で判断すればいいんで、まわりでいいとかいけないうん。ああいう教師のほうは手柄話なんだ全部。どっかの学校で有害図書リストを作ったって発表すれば、じゃあうちの学校は禁止しちゃうとか。家庭科の研究会で「冬でもランニングを着ている子がいてけしからん」っていうのね。「ナゼデスカー？」って聞いたたら「暑さ寒さに応じて衣類は着るもんだから、冬は長袖の下着：」、笑っちゃったよね（笑）。学校でもいろんな規則があるけど、ちょっと思うとなんでもなくなっちゃう。さしあたって食べられて、子どもが育てられればいいじゃないと思えば気楽なもんだよね。ただし、その気楽さをつぶそうとする方向のものに対しては、やっぱりきちんとクレームをつけていかないと。

質問が出たの。僕は助言者だったからいったんだけど、火っていうのは実際に燃えているから子どもたちはそばにいけば温かくなるし、煙が出て炎が見えるからさわらない。そんな直接目に見える怖さよりも、核とか原発みたいに全然目に見えないもの、じつはそっちのほうがかなり怖いんじゃないかって。さちほ どういうことか分っていないから、怖いもんだと思いつつも実感として感じられない。ナトリ いま全部がブラックボックスでね、ただ便利でボタンだけ押せばいいっていうね。教育もそう。ほんとに子どもにとって必要なことを教えているのかどうかって、子どもには分らないわけだね。とにかくそれを消化していかないと、落ちこぼれて問題児にされていっちゃう。

ナトリ 学校の教師やってて分ったんだけど、学校っていっぱいきまりがあるじゃない。けどあれ全然根拠がないのね。うちの学校、きまりを全部なくしちゃった。教師ってわりと一方向しか見てない人多いじゃない。まじめぶって偉ぶってるじゃない、いろんなこと知らないくせに。ロックなんかもそうで、自分たちが聴いたこともノットこともない、そのくせロックやるのは悪い子だみた

しない。ただの子（笑）。赤ちゃんが無防備でしょ、自分の体を守る力がなくて。超能力っていうと変だけど、そういうのが自然に備わっているんじゃないかなって思ったりした。一番保護してあげるべきお母さんがそういうことをするのを防ぐっていうか、そんな不思議さを感じました。



ナトリ 妊娠して出産していま子育て中だけど、音楽は変わってきた？

さちほ 音楽は全然変わってきません。けれど、ものに対する考え方が変わったのは変わりました。なんか（自分には）無責任な人なんですけども、や

った時、署名を集めることや歌にしようって思っちゃう。とりあえずそのとっかかりをつかもうというんな本を読んだりしている状態だから。ナトリ 政治ってことになると、かなりの部分が他人の言葉でしゃべるじゃない。誰かの見方を自分の見方みたいにしゃべる人が出てくるじゃない。そういう人は僕は嫌いで、自分の言葉でしゃべってる人のほうが

# うたうたうたう

核の炎がこの地にたえるまで

作曲 テッド・ウォームブラント  
訳詞 古川 豪

1. かく のー ほ の お が こ の 地ーにたえるーまで われ  
2. かく のー ほ の お で つ く ら れ る ゆ た かーさは や が  
3. は は な る だ い ち に わ れ らーともうーまれ あ い

らーたたいーぬくーその 日そ の と き ま ーでる  
て破かいをまーぬくーいま こそ 立ち あ が  
しー分ちあーうー だれ が は ぶ の ーか

広島での第5回全国会議のあとのデモで歌われたこの歌は、78年に来日した  
テッド・ウォームブラントさんの歌を古川豪さんが訳詞したものです。

# うたうたうたう

っぱり怖い、いろんなことが。そのうちプルトリウムとかが一杯になっちゃって、この子が大きくなる頃にはどうするんだろう。放射能ってなかなか消えないでしょ。いままでは「私が死んじゃえば別に関係ないや」みたいなところがあつたけど、そういう考え方はできなくなりましたね。ゴミ捨て場みたいなところに残して死ぬっていうのは嫌です。

ナトリ 核の問題なんていうのは、わりと昔から関心があった？

さちほ そうですね。関心っていつもものすごく稀薄なもので、気持ちの上では反対で反核のコンサートなんかにも出たりとかしてましたけど、もっと日常的でさし迫った問題だったというのがなかなか分らなかったですね。子どもを作ってみて、そういうことが早く分って良かったと思えましたね。バンドやってて私がいくら口でいっても分らないと思う。私自身そういうことを書いたのをいくら読んでも実感として分らなかったけどいま読むととても怖い。そういうことを知らないお母さんに教えてあげなくちゃって思う。

ナトリ この間、研究会で養護学校に行ったんだけど、子どもたちが校庭でうどんをゆでて食べてるのね。すると、それを見ていた人から子どもたちがやけどをしないかっていう

はるかに分りやすいよね。子育ても同じで、どこかのテキストに書いてあったことじゃなくて、自分が納得できるやり方でやっていると、それなりに親子の関係がきちんちゃう。あと、表現をするって面倒なことにもまき込まれると思ってる人もあるけど、表現しているほうが楽だよ。僕なんか一日黙っていたら苦痛だな（笑）。さちほ 私もそうですね（笑）。

（85年2月10日 東京・信濃町にて）

# 平良修 日本をつきはなして みる場所・沖縄

一九七二年に施政権返還が行なわれてから、すでに13年たちましたが、未だに沖縄は臨戦状態にあると私は思っています。今年一月に金武という町で沖縄住民が米兵によって殺害されるという事件がおきました。それはこの臨戦状態のもと、当然おこりうることでおきたのであって、今さら驚くことではないと思っています。

沖縄というところは、日米両国の国策によって、いやおうなくそういうところへ追い込まれているのです。ただ、施政権返還前は対日平和条約の第三条によって、沖縄の地位はまだ固定化していなかった、つまり形の上ではアメリカの支配下にありましたが、それは暫定的なもので、まだ先に何らかの望みを持つこともできたわけです。しかし日米安保条約の

中で沖縄の位置づけを固定化するという形で施政権が返還されました。その意味で今、私はむしろ復帰前よりもやりきれない思いがあります。復帰前はまだ相手はアメリカだけでしたが、現在は日米両国の合作、固い決意によってこういう状況におかれているわけですから。しかも、少なくとも「自分たちの国」と思っている日本によって今の臨戦状態が固定化されてしまっている……。ですから二重の腹立たしさを覚えるのです。

## 日本人である前に

沖縄の日本への復帰、それは言わば日本の平和憲法を自分たちのものにすることでもありました。しかし復帰運動をしていく



平良修（たいら・おさむ）  
一九三二年、宮古島・平良（ひらら）市生まれ。現在、日本キリスト教団佐敷教会牧師。靖国神社国営化反対沖縄キリスト者連絡会代表。沖縄良心的軍事費拒否の会長。一坪反戦地主会代表世話人。沖縄人権協会理事。

中で、日本の憲法が、ことに平和条項が空洞化しつつあるというところが、だんだん見えてきたわけです。ですから沖縄の日本復帰というのは、ただ単に地理的に政治的に日本の一部に戻るということだけでなく、同時に日本全体が平和憲法に戻る——沖縄の復帰をバネにして憲法から離れてしまっている日本の現実をもういっぺん憲法の原点に戻す——それが私たちの切実な思いだったんです。つまり私たちの側からすれば、復帰の問題はまさに日本全体の問題だったわけです。

しかし返還協定は私たちの希望をふみにじる内容のものでした。しかも、それまで拒否し続けていた国会議員の選出を、復帰の内容が決まってしまうと認め、あたかも沖縄県民の国政参加のもとに復

は、少なくとも日本人である前に人間としての良心に忠実でありたいし、自分の理念を大事にしていきたい、それが私の基本的なありようです。

## 自衛隊ではなく日本軍

私は今、沖縄の平和活動団体に「自衛隊」という言い方はやめよう、と言っているんです。あれは「自衛隊」なんかではなく「日本軍」だと、しかも沖縄に対する侵略軍だと。

もともと沖縄は反軍感情、特に戦後の「自衛隊」に対する反感が強い所なんです。たとえばこんなエピソードがあるんです。私の知人の90歳になるおばあちゃんが「自衛隊」の宿舎の前を通った時「あれは何だ？」と聞くので、知人が「ヤマトの兵隊の家だ」と説明したら「なぜヤマトの兵隊がいるのか、ヤマトの兵隊はこの前の戦争でいなくなったのではないのか、沖縄で何をしているのか？」と問いつめられたと——。これは全く素朴なおばあちゃんの発言ですけど、私は非常に核心をついていると思うんです。というのは、

沖縄には「自衛隊」が市民権を得やすい逆の状況も同時にあるんです。

沖縄には離島が沢山ありますから、その急患を運ぶ時、海上保安庁の飛行機だけでは間に合わないで「自衛隊」の飛行機を使うわけです。そうやって苦しい時に助けられて生命びろいをする、反軍感情、反「自衛隊」感情をもった人でも、抵抗しにくくなってしまうんですね。また沖縄には、5千万トンという大量の不発弾がまだ埋もれているんです。沖縄の新聞には「半径〇百メートル内は、〇月〇日の〇時まで、どこそこへ避難」といった記事がしょっちゅう出ていますが、その危険な不発弾撤去をやるのが「自衛隊」なんです。しかし急患を離島から運ぶにしても、不発弾の処理にしても、軍隊なんて使う必要はない。他にいくらかの方法はあるんです。でも彼らに市民権を得させるために、体制側はどんどん使うわけです。ついせんだって、二年後の沖縄国体に向けて「沖縄一周駅伝大会」が行なわれ、初めて自衛隊のチームも参加したんです。それに対してものすごい抵抗がおこって、最初12チームだったのが、「彼らが

出るなら参加しない」と7チームがおりて、5チームだけでやっただけです。しかし体制側としては国体に向けての準備ですから、どうしても彼らに参加させたい。だから、たとえチームの数が減ってもやるわけです。

こういう時であればこそ、「ヤマトの兵隊がなぜいるのか、何をしているのか」という、あのおばあちゃんの言葉が私たちにとても非常に大事に思えるんです。「自衛隊」を「日本軍」と呼ぶ、それは軍隊としての彼らだけを問題にしているんじゃない。つまり「日本軍」というものをもち、それを積極的に沖縄に送りこんでいるヤマト総体を撃つことでもあるわけです。ですから我々は「自衛隊」を「日本軍」と呼び、「日本軍を沖縄に送るな」と言う、それだけの沖縄の思想を持つてはいないか、と呼びかけているんです。

## 天皇は沖縄に来れるのか

二年後の一九八七年、沖縄で国体が開かれますが、その時に天皇が来るのではないかと言われています。日本政府はどうしても天皇

帰が承認されたというような形をとっている。これは二重の欺瞞ですね。ですから私は基本的に沖縄の施政権返還に非常な不満をもっています。何の不満も抵抗もなしに「沖縄県」という名前を取り戻したという形には絶対したくない。それで私は沖縄県の「県」という字を使わないんです。行政的にはひとつの県として日本に組み込まれている現実を認めざるをえませんが、少なくともその中であって魂までは日本政府に征服されることを拒否するという思いが私にはあるんです。

つまり、復帰に反対しながら復帰を生きなければならぬ、日本人であることを拒否しながら日本人として生きなければならぬ。という意味で私は非常に心の不安定な生活をしています。しかし私



を派遣したい、ぜひとも行っていただきたいでしょうね。沖縄国体はこれでひとまわりめが終わる最後の国体なんです。次からはふたまわりめが始まるわけですから、ひとまわりめの締めくくりということもあるでしょう。それと、今の象徴天皇の足跡が残されていないのは沖縄だけなんです。これは天皇制によって日本の国民統一をはかろうと考えている日本の体制からすると、どうしてもそういう場所を認めてはならないわけですよ。だから今の天皇でなければならぬ。二代にわたって全国行脚した、という形にはしたくないでしょうから。また天皇自身も、最大の激戦地であった沖縄に行かないわけにはいかない、行きたい、とも考えているでしょう。ですから天皇も日本政府も、天皇が沖縄に行くということについて、相応な決意をもって臨むだろうと思

ます。それを可能ならしめるために、おそらく非常に非人間的・反人権的な警護態勢をとるでしょう。

しかしこの天皇の訪沖には、天皇の日本における位置づけを沖縄でもって完了する、つまり中曽根さんの言う「戦後政治の総決算」という意味が含まれていると思うんです。天皇を使って「戦後政治の総決算」を沖縄で打ち止めにする、という意図が強いと思うんです。

振り返れば、沖縄というところは天皇との関わりによって不幸が続いているんですね。もともと沖縄は異民族・異族の地ですから、百年前の明治政府による同化政策・皇民化政策もとりのけ徹底しましたし、天皇制のいろいろな被害をものにかぶったわけですね。以来、沖縄の歴史は天皇にからめとられた国内植民地としての歴史の連続ですね。それだけに私は、天皇の沖縄に対する責任というものは極めて大きいと思うんです。だから責任をとることもできないような状態にありながら責任をとったような形にさせちゃならないと思うんです。天皇が責任をとるというのは、彼自身が退位することでも十分ではない。一番いい方法は

天皇制そのものを廃棄することだと、私は思っています。

というわけで、私は天皇の沖縄国体出席ということに、どうしても賛成できません。少なくとも今の天皇が足を踏み込めなかった場所が日本の一角にあるという事実を残しておきたいのです。

## 目の上のタンコブ

沖縄が米軍の統治下におかれていた27年間、それは極めて厳しい時代ではありましたが、同時にそれは沖縄が日本というものを突き放して見る、また自分自身をみつめる大事な時期だったと思うんですね。つまり日本の国家権力が沖縄から奪いとっていったものを自らの手にもういっぺん回復していくという自覚にめざめた時期だったと思います。たとえば「琉球」という言葉は、かつては聞くだけでゾッとするような差別を含んだ呼び名だったわけですが、そうした意識も今では完全に乗り越えられました。また、我々独自の、固有の言葉や文化も大切に育んでいます。

様々な試練がありました。が、そ

れは沖縄人が主体性を回復していくことにつながる大事な時代だったと思っています。そういう意味で歴史は決して、全く無駄には動いていないということですね。マインス要素を含んでいる歴史の中から私たちが学びとれる大きなプラスがある、ということに改めて感じますね。

これまで沖縄は日本の国策によって、切り捨てようが、引き戻そうが、どうにでもなる地域として扱われてきました。そこには「島」という地理的な条件もありますが、その背景には、沖縄に対する一体感が日本にない、ということがあ

るわけです。先の戦争によって分断された国、ベトナム、ドイツ、朝鮮半島とありますね。しかし日本が切り離されたという認識を持っていた人はあまりいなかったでしょう。つまり何が起きて自分とは無関係というような地域でしかない、そういう国民的認識に支えられて、日本政府は沖縄に対して何でもできたわけです。

しかしそれは、沖縄が日本政府にとって価値のうすい、どうでもよいような小さなところだったからではありません。実際は逆なの

## トマ

ホークの配備に反対という方があるなというのが、全体をとらえて見た時の率直な気分です。若い人からお年寄まで、世界中、日本中いろんな町で、歌ったり訴えたり、登場人物によりさまたま。これはとてもステキなことです。私などは特に年配の人が従来の運動形態にこだわらずに発案する運動に、共感できるものを見つけたという感じです。1号の飛鳥田さん、2号の関屋さんが心に残りました。

要望としては、核にかかわる情報をまだまだたくさん載せてほしい

## 前略

「トマ喰い虫」2号届きました。いつもどうもありがとうございます。柳谷さんと鈴木さんの対談、楽しく読ませていただきました。熊本とはずいぶん違うと感じました。こちらは、市や町の封筒で自衛隊募集のパンフレットが配られ、市と地連がいつしで新隊員の壮行会をやる土地柄ですから……。

重野信一（熊本市）

## 山崎ひろみ（婦人民主クラブ）

い。また、まだ運動のないところ、とても運動などできそうにないというところからも声が寄せられると、運動全体を見渡せるのではないかなと思います。きっと、いろんなたたかい方が、たかたかっている人の人数分見つかるまで、トマホークに勝つのはむずかしいと思う。楽しく読みながら、こんなことを考えてます。

## 本当

に画期的で楽しくて、かつとても鋭く、情報もいっぱい、すごいなあーと思っ

読んでいます。「週刊トマ喰い虫」とかになったらいだらうなあと思ったりもしています。どんどんぶあつくなくなっていったら、と思います。

## あこ

がれて上京し、住みついて18年。夢破れて都落ち、もともと夢はなかったと気づき、そんならばここで根っこのはった生活をノと、やっと目からウロコの落ちる想い。足元をじっとみれば、なんと足すら地についていなかったではないですか。しっかり生活します。応援します。どうぞ「元氣」で。「元氣」じゃなければいけないのです。2号4ページの「アトミック・カフェ・ゲリラ」実行委の連絡先おしえて下さい。

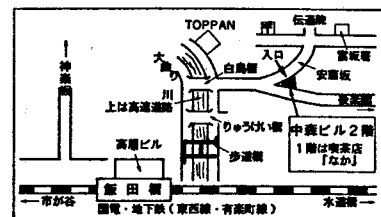
東美知代（石川県加賀市）

の運動される方とにもしない人との橋わたしをやっているかと思っ



## 読者から

「各地の運動の真ただ中で聞いている無名(?)の人達のこだわりや、ゆずれない一線についての生の声を伝えてほしいものです。そして、俺達はこの風にして敗れてしまったから気をつけるよと、ひとつの運動の挫折もこやしにするようなトマ喰い虫であってほしいですね」●自然食通信20号にあったトマ喰い虫の書評です。改装号の編集で、まず私たちが話し合ったのもこのことでした。●全国各地でがんばっている皆さん。そして、もうがんばれないよという心やさしき我が同志。応答せよノ(に)



●近くにきたらよってみて下さい。今日は広島の木原さんがひょっと顔を出しました。(4/16)



# 海外から

## パラオ

きびしい局面を  
むかえている  
非核独立の闘い

西太平洋ペラウ（パラオ）の人々が「非核憲法」を制定したことは、ご記憶の方も多いと思う。ペラウは、日本からは南へ一直線、ミクロネシアと呼ばれる西太平洋地域の西端に位置し、人口は1万5000人。5つの島と3000を超える小島からなり、その広さは島々をすべてあわせても淡路島の3分の2くらい（約500平方キロ）という小さな島々だ。それでもペラウ最大の島バベルダオブ島は、ミクロネシア地域においてはグアム島について大きい。

現在ペラウは、米国が施政権を握る国連信託統治領下におかれているが、この信託統治終了をめざしてつくられた憲法が、住民投票

で4分の3以上の承認がえられないかぎりには原発を含む一切の核を拒否すると明文化した「非核憲法」である。

スペインにはじまり、ドイツ、日本、そして米国と、3世紀にわたり外国の植民地下におかれ、外国の思惑のままに利用され、踏みこたにいられたペラウの人々は、単に核を拒否したいということだけでなく、自分たちのことは自分たちで決められる社会をつくりたいと願ってこの憲法を制定した。しかしペラウの人々がその願いをおしとおせるか、前途はきびしい。というのはペラウの一大米軍基地化をめぐむ米国が、自由連合協定なる基地協定の締結をせまり、非核憲法をつぶすため様々な圧力をかけているからだ。

米国の憲法つぶしは、79年4月



にペラウ憲法が起草されたときから始まっている。このためペラウ憲法は最初の住民投票で92%の承認をえたにもかかわらず、これを認めない米国によって3度にわたる住民投票が行なわれ、制定にいたった。さらに自由連合協定についても2度の住民投票が行なわれ、否決された。米軍基地化されたくないというペラウ民衆の意思は、すでに5度の住民投票結果で明らかといっている。にもかかわらず米国は、自立した経済をもたないというペラウの弱み（戦後40年におよぶ米国支配のなかで米国に依存せざるをえない経済構造がつくられてきた）につけこんで、くり返し自由連合の締結をせまっている。最近もペラウ憲法から非核条項が除かれるまでは信託統治をやめない、憲法改訂の圧力をかけていることが報道された（『朝日』2月21日）。こうした圧力にペラウの議会では、住民投票で否決された自由連合協定を議会の議決で発効せよとする動きも出てきているという。ペラウの人々が憲法を守りとおし、完全独立をかちとれるか否か、ペラウ民衆のたたかいはきびしい局面にさしかかっている。

（荒川俊児）

## アメリカ

アジア太平洋  
キャンペーン  
現状報告No.2  
より

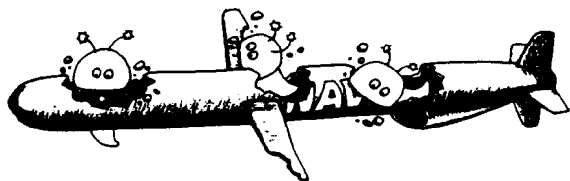
キャンペーンの事務局は、これまでアメリカ国内の軍縮運動のトマホーク問題に関する動きを活発化することに努力してきた。その結果、トマホークに関する予算とその配備をやめさせる方向で、直接的な政治圧力をかけるアメリカの統一キャンペーンにむけて大きく前進することができた。

アメリカで、新たに海軍基地をつくらうという計画が、キャンペーンの口火を切らせる結果となった。海軍は、600隻を目標に艦船を建造する計画の中で、艦隊を分散させ、戦艦、航空母艦の編隊をアメリカの東岸、西岸、メキシコ湾岸の主要都市に配備する意向であった。ところがこれらの艦隊にはトマホークが配備されるだろうというところで、トマホークがにわかには地方レベルの問題となり、それ以前より感情的反発を盛りあげることになった。

これまでの主な進展は次のとおりである。

- ・ニューヨークとサンフランシスコでは、この地の港を艦隊の母港としようとする海軍の計画をくつがえすために、大規模な連合体が活動中である。彼らはキャンペーンの重点をトマホークにしばり、海軍の提案に反対票を投ずるよう市会議員の大多数を説得した。同じような連合体が、これまでも海軍がその地の港を母港化するのを妨害することに成功してきた。
- ・84年11月にあった「生存のための動員」全国会議では、トマホークに重点をおいた、海洋での兵器増強に反対するプログラムが承認された。

- ・同12月には全米核凍結会議が、トマホークを一九八五年度の凍結一括案の一部とする可決した。
- ・さらに12月に、「致命的連関」に関する最先端の仕事をしているアメリカの運動の指導者協議会は、トマホークが今後の組



織活動の中心にならなくてはならないことを確認した。

- ・アメリカン・フレンズサービス委員会の全国軍縮事務局は、アメリカ国内でトマホークに関心をもっているグループ間の協力のために地ならしをし、ネットワークづくりを始めている。

私たちはアメリカの諸団体が統一キャンペーンを始めるため、この春にも会合が開かれるよう期待している。そしてこの会合に太平洋・北大西洋の代表が参加できるように願っている。（4月13日・14日にこの会合は開かれた―編集部）

## 韓国 1985年 春

「シウォナダ（スカットした）」総選挙の結果に対し、韓国の人びとは口ぐちにこう語ったという。

2月12日。干渉の中の選挙戦であったにもかかわらず、その結果は、与党の民主正党の得票率35・3%に対し、結党わずか一カ月の新民主党が29・2%にまでおいあげる

という画期的なものであった。民青学連事件で死刑宣告を受けた李哲氏がソウルで最高得点で当選したことは、その質を何より鮮明に物語ったといえよう。

### 歴史は変わりつつある

80年5月、軍事クーデターと光州民衆決起に対する2千余人の大殺りくで、一旦は押えこまれつつあるかのようにみえた韓国の民主勢力は、83年以後の「緩和局面」の中で、底辺からその力をみなぎらせ始めた。

韓国の民主活動家、張白山は「大衆路線と組織運動——これこそが80年代民主化運動の軸である」と語る（『世界から』22号）。

この一年間に組織された民衆民主運動は、その主だったものだけをあげても、以下のとおりである。

- 84年3月・労働者福祉協議会（機関誌『民主労働』）
  - 4月・民主文化運動協議会
  - 5月・民主化推進協議会（機関誌『民主通信』）
  - 6月・民衆民主運動協議会
  - 9月・民主化運動青年連合（機関誌『民主化の道』）
  - 10月・民主統一国民会議
  - 11月・全国学生総連盟
- 学生や知識人たちは活発化する

「基層民衆」の生存権闘争に積極的に参加していった。大衆集会がくり返し行なわれ、新たに出された機関誌、不定期刊行物（ムック）が配布されていた。

清溪被服労組の再建、大字アパレル労働者の民韓党本部籠城闘争、あいつぐタクシードライバーの果敢な闘いの中で行なわれた朴鍾萬氏の焼身自殺とその波紋は、80年代韓国労働運動の昂揚をあますところなく示すものであった。

そして学生運動。除籍学生の復学闘争をテコとしたその闘いは、42大学の韓国全学連の結成へと発展し、民主正党本部籠城をつらぬいた民主化闘争学生連合は、全斗煥政権の暴力的、非民主的本質を徹底的に暴露し、新民党（84・1結成）躍進の原動力となっていた。

「ソウルの春」から5年目の春を迎え、韓国からは労働者の闘いの知らせが次々と伝わってくる。そして、3月に新学期を迎えた学園では、政府の欺まんの学徒護国団廃止に反撃し、自律的な総学生会の結成をめざし、学生たちの闘いが連日、展開されている。

日韓条約締結から20年、韓国民主勢力は前進しつつある。

（岡田理）

# 反トマホーク・第2次全国アンケート調査結果まとまる！（調査期間 '84.11～12）

集計総数 3160人（男1131人、女1427人、性別不明602人）

問1. 「トマホーク」というコトバを聞いたことがありますか。

①ある（正解） ②ある（誤解） ③ない

④無回答

男	①66.9%	②14.5	③18.5	④0.9
女	①41.6	②25.2	③32.9	④0.4
全体	①52.8	②20.0	③26.6	④0.5

問2. 「トマホーク」が日本に配備されることを知っていますか。

①知っている ②知らない ③無回答

男	①50.9	②49.1	③1.1
女	①44.1	②54.2	③1.8
全体	①45.8	②52.5	③2.1

問3. 「トマホーク」の日本配備をどう思いますか。

①反対 ②賛成 ③やむをえない ④わからない

⑤無回答

男	①57.6	②6.4→	③18.3	④15.3	⑤1.2
女	①70.1	②0.9→	③8.6	④18.8	⑤1.4
全体	①65.7	②2.5→	③13.2	④16.6	⑤1.7

問4. 現在、非核三原則は守られていると思いますか。

①守られている ②守られていない ③わからない

④無回答

男	①9.0	②68.6%	③20.1	④1.6
女	①5.3	②66.9	③26.3	④1.3
全体	①7.4	②67.7	③22.7	④2.0

問5. あなたは、非核三原則を守るべきだと思いますか。

①思う ②思わない ③わからない ④無回答

男	①75.2	②7.8→	③14.4	④1.8
女	①76.9	②3.2→	③15.2	④1.8
全体	①77.8	②5.1→	③14.3	④2.4

＜実施地域＞ 北海道、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、呉、京都、広島、岡山、福岡、大分、……御協力ありがとうございました。

トマホークを知っている人は昨年の18%から53%へと大きく増加しました。配備やむをえないがふえているのですが、積極的賛成の人がへっていることとあわせて考えると、このやむをえないは、反対してもダメダロウというあきらめと読めます。この人達がふり返る運動が必要！

へ反トマホーク元氣印ニュース  
 ●2月以来、核艦船の入港拒否をつらぬいているニュージーランド。アンザス条約にもとづく合同演習は中止、7月の条約理事会は無期延期になって、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカの三国軍事同盟は事実上機能しなくなっている。  
 ●オーストラリアでは反核団体がウィンドサーフィンで核艦船に接近したり、ハンググライダーで空からペンキをまいたりする創意工夫に富んだ方法で抗議を続けている。  
 ●ニュージーランドに続いてカナダも核兵器持ち込みを認めない声明を発表（2月5日）。  
 ●西ドイツとイギリスでは復活祭にちなんだ大規模なデモが行なわれた。パーシングⅡや巡航ミサイルの配備反対、宇宙軍拡反対を訴えて、西ドイツでは4月5日～8日に延べ50万人が参加、イギリスでは4月8日に2万人以上が豪雨をついて参加。  
 ●今年中に予定されている米艦の中国寄港について中国側は「核を積んでいない艦に限定」と発表してアメリカ側をあわせてさせている。  
 ●さあ、日本でもはりきろう！

「トマ喰い虫」改裝3号（通刊8号）  
 1985年5月10日発行 頒価250円  
 発行 トマ喰い虫社  
 〒112 東京都文京区春日  
 1-8-6 中森ビル2階  
 電話 03・813・1953  
 郵便振替 東京6-136148  
 （口座名 トマホークの配備を許すな/首都圏運動）

トマ喰い虫とは、横須賀の久里浜中学生が、考え出したトマホークをたべてしまう生き物です。反トマホーク運動のマスコット。

この号の編集に参加した人  
 新倉裕史、加納明、梅林宏道、大橋成子、山鹿順子、林夏子、今井明井、上年弘、相馬正男、井上澄夫、鷺谷眞理子、大久保青志、鈴木良へ写真へ喰代 仁、木村松夫、今井明

＜元氣印ニュース・うれしい追加＞  
 ●4月18日、アイスランドの外相は「すべての核搭載艦船の領海内への立ち入りを禁止する」と言明。アンザスに次いでNATOにも風穴が。さて安否は？

